

2019年10月29日

第 157 回 県内企業・業況調査結果

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

| | |
|----------|-------------------------------------|
| [調査要領] | |
| 対象期間 | 2019年7～9月期実績見込み 2019年10～12月期見通し |
| 調査時期 | 2019年9月下旬 |
| 調査方法 | インターネット及び郵送 |
| 対象企業 | 県内主要企業 500社 |
| 回答企業数 | 357社（回答率 71.4%） |
| 特別質問項目 | SDGs について 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会について |

用語 今期＝2019年7～9月期 来期＝2019年10～12月期
前期＝2019年4～6月期 前年同期＝2018年7～9月期
D.I. ＝「良い」－「悪い」、「増加」－「減少」、いずれも回答企業割合

「調査結果のポイント」

1. 今期の業況～下落

今期は自動車小売業、機械・金属製造業、建築業などが大幅に改善したものの、外食産業、旅館・ホテル、その他サービス業などが大幅に下落した。その結果、今期の業況 D.I.は▲22 となり、前期（▲17）から下落し、第151回（2018年1～3月期）から7期連続のマイナス圏となった。

2. 来期の業況見通し～やや改善

来期の業況見通しは▲18で今期（▲22）からやや改善する見通し。

3. 設備投資

① 今期、設備投資を実施した企業割合は 39%と、前期（36%）からやや増加した。

② 今期の設備投資の合計金額（実額）は全産業ベースで 180 億円、前年同期比 14.6% 増となった。来期の設備投資の合計金額（実額）は全産業ベースで 157 億円となり、前年同期比 24.6% 増となる見通し。

4. 経営上の問題点（内部環境・外部環境）

「人手不足・求人難」を挙げる企業割合が 54%と第 147 回（2017 年 1～3 月期）の調査以来 11 期連続で単独トップとなっており、深刻な問題である。また、「売上（受注）不振」は前期 36%→今期 40%で最も増加した。

5. SDGs（持続可能な開発目標～Sustainable Development Goals）について

SDGs について、「取り組んでいる」が 10%であり、「取り組みについて検討中」（15%）を合わせると 25%の企業が SDGs に前向きな姿勢であることが分かった。取り組む理由は、「企業価値向上への期待」と「自社の企業理念・経営課題などと一致する」がともに 46%と最も多く、取り組まない理由は「今回のアンケートで、SDGs を初めて知ったから」（43%）が最も多かった。

6. 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会について

両大会に対する期待について、「期待している」は 46%と最も多かった。次いで「どちらでもない」は 42%、「期待していない」が 12%だった。期待することは、「鹿児島県が盛り上がる」が 83%と最も多かった。一方、期待しない、取り組まない理由は、「業種的な関連が無いから」が 61%と最も多かった。

1. 今期の業況～下落

今期の業況 D.I.は▲22 となり、前期（▲17）よりも下落し（図表 1）、第 151 回（2018 年 1～3 月期）から 7 期連続のマイナス圏となった。

業況 D.I.を業種別（大分類）で見ると、製造業（前期▲29→▲28）はほぼ横ばいで推移し、建設業（同▲8→▲4）、小売業（同▲21→▲17）がやや改善した一方、卸売業（同▲23→▲33）、その他産業（同▲7→▲22）が大幅に下落した（図表 1）。

業種別（中分類）で見ると、新型車販売による効果等から自動車小売業（同▲30→0）が大幅に改善したほか、追加関税の延期などで米中貿易摩擦の影響が若干薄らいだ機械・金属部品製造業（同▲47→▲19）もマイナス圏内ながら大

幅に改善した（図表 2）。

一方、7月の長雨や5月の大型連休明けから消費マインドが弱まった外食産業（同▲24→▲83）が大幅に下落したほか、天候不順や韓国との関係悪化の影響により旅館・ホテル（同▲11→▲25）、その他サービス業（同▲14→▲28）も大幅に下落した。

2. 来期の業況見通し～やや改善

来期の業況見通し D.I.は▲18で今期（▲22）からやや改善する見通し（図表 1）。

業況見通し D.I.を業種別（大分類）にみると、建設業（同▲4→▲6）がやや下落し、小売業（同▲17→▲30）が大幅に下落する見込み。一方、その他産業（今期▲22→来期▲17）が改善し、製造業（同▲28→▲17）、卸売業（同▲33→▲23）はマイナス圏ながら大幅に改善する見込み。

3. 設備投資～実施した企業割合は前期からやや増加

今期、設備投資を実施した企業割合は39%と、前期（36%）からやや増加した（図表 6、7）。**来期に設備投資**を予定する企業割合は36%で、今期（39%）からやや下落となる見込み。

今期の設備投資の合計金額（実額）は全産業ベースで180億円、前年同期比14.6%増となった（図表 8）。業種別では製造業の109億円（前年同期比39.7%増）が最も多く、その他産業54億円（同35.0%増）、小売業が13億円（同55.2%減）、建設業（同33.3%減）、卸売業（同75.0%減）がともに2億円となった。

来期の設備投資の合計金額（実額）は全産業ベースで157億円となり、前年同期比24.6%増となる見通し。業種別では製造業の84億円（前年同期比21.7%増）が最も多く、以下、その他産業が51億円（同34.2%増）、小売業が17億円（同30.8%増）、建設業が5億円（同28.6%減）、卸売業が1億円（全増）の順となった。

1社当たり設備投資の金額別構成比をみると、今期の全産業では「1～5千万円未満」が全体の40%で最多となった（図表 9）。次いで、「1千万円未満」（34%）、「5千万～1億円未満」（13%）、「1～5億円未満」（7%）、「5～10億円未満」「10億円以上」（ともに3%）と続いた。また、来期は「1～5千万円未満」が45%で最も多く、次いで、「1千万円未満」（27%）、「1～5億円未満」（16%）、「5

千万～1億円未満」(9%)、となった。

業種別(大分類)にみると、今期「1～5千万円未満」が多かったのは卸売業(57%)とその他産業(45%)だった。一方、「1千万円未満」が多かったのは建設業(60%)で、比較的小口投資が目立った。なお、10億円以上の大型投資は製造業とその他産業のみで計上された。

来期は製造業、建設業、小売業で「1～5千万円未満」の割合が増加する。一方、卸売業は「1千万円未満」の割合が75%と今期(29%)から大きく増加する見通し。

また、10億円以上の大型投資は今期同様製造業とその他産業のみで計上されている。

4. 経営上の問題点(内部環境・外部環境)～依然として人手不足が最多

経営上の問題点(内部環境・外部環境)は、「人手不足・求人難」(54%)と回答した企業割合が最も多かった(図表10、11)。「人手不足・求人難」は第147回(2017年1～3月期)の調査以来11期連続で単独トップとなっており、深刻な問題である。以下、「競争激化」(42%)、「売上(受注)不振」(40%)と続いた。このうち、「売上(受注)不振」は前期36%→今期40%で最も増加した。

5. SDGs(持続可能な開発目標～Sustainable Development Goals) ^{注1} について

2015年9月に国連で採択されたSDGsについて、行政や市民レベルに加え企業の社会的責任の観点からもその重要性が高まっている。そこで県内企業のSDGsに対する取り組みについて調査した。

SDGsに対する取り組み状況について、「取り組んでいる」が10%であり、「取り組みについて検討中」(15%)を合わせると25%の企業がSDGsに前向きな姿勢であることが分かった(図表12)。一方、「取り組んでいない」は75%で多くの企業が現状ではSDGsに未着手という結果となった。業種別では「取り組んでいる」「取り組みについて検討中」の企業の合計が最も多かったのが小売業(31%)で、最も少なかったのは卸売業(17%)であった。

^{注1} SDGs…現代世界が地球規模で直面する経済、社会および環境面における課題を解決するため、国連で採択された国際目標。17の目標(ゴール)と169のターゲットで構成される。日本においても内閣総理大臣を本部長とする「SDGs推進本部」を設置し、積極的な推進に取り組んでいる。

取り組む理由は、「企業価値向上への期待」と「自社の企業理念・経営課題などと一致する」がともに46%と最も多く、次いで「社会的な要請の高まり」(43%)、「もともと取り組んでいた活動が一致している」(28%)の順となった(図表13)。

SDGsの17の目標のうち、「取り組んでいる」、もしくは「取り組みについて検討中」のものは、「3.すべての人に健康と福祉を」「8.働きがいも経済成長も」がともに53%と最も多く、次いで「7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに」(47%)、「12.つくる責任使う責任」(43%)、「11.住み続けられるまちづくりを」(36%)の順となった(図表14)。また、具体的な取り組みには「健康経営(従業員の健康管理を経営的な視点で考え実践する)」、「再生可能エネルギーの活用」、「リサイクルの取り組み」、「ISOなどの認証制度への取り組み」などが挙げられた。

取り組まない理由は「今回のアンケートで、SDGsを初めて知ったから」(43%)が最も多く、次いで「具体的な取り組み方法が分からないから」(27%)、「特に必要性を感じないから」(24%)、「取り組む人員を確保できないから」(18%)などの順となった(図表15)。

6. 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会^{注2}について

2020年10月、燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会(以下、両大会)が本県で開催される。そこで、県内企業の両大会についての取り組みを調査した。

両大会に対する期待について、「期待している」は46%と最も多かった。次いで「どちらでもない」は42%、「期待していない」が12%だった(図表16)。業種別にみると、「期待している」が最も多かったのはその他産業(53%)で、旅館・ホテル業や外食業で期待する企業が多かった。半面、最も少なかったのは製造業(39%)だった。

期待することは、「鹿児島県が盛り上がる」が83%と最も多く、次いで「自社の売り上げ、来客が増える」(42%)の順となった(図表17)。

期待している企業に対し、**具体的な取り組み状況**を尋ねたところ、「取り組んでいる」(22%)、「今後取り組みたい」(50%)で合計72%の企業が両大会に積極的であることが分かった(図表18)。一方、「取り組まない」は28%だった。

取り組みをしている(したい)内容は、「行政との連携、企業協賛など」(63%)が

^{注2} 燃ゆる感動鹿児島国体…第75回国民体育大会(国体)。48年ぶりに鹿児島で開催される国体となる。かごしま大会…第20回全国障害者スポーツ大会。鹿児島では初開催となる全国規模の障害者スポーツの祭典。

最多で、「県外観光客の取り込み」(34%)、「社員の大会ボランティア参加の促進、支援など」(23%)が続いた(図表19)。具体的には「大会タイアップ商品の開発」、「県とのオフィシャルサポーター契約の締結(企業協賛)」などが挙げられた。

期待しない、取り組まない理由は、「業種的な関連が無いから」が61%と最も多く、製造業の企業の回答が多かった。次いで「取り組む人員を確保できないから」(21%)、「良い影響はありそうだが優先順位が低いから」(18%)などと続いた(図表20)。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)九州経済研究所(Tel 099-225-7491)

《資料編》

第 157 回 県内 企業・業況 調査 結果 集計 表

図表 1 各項目 D. I.

単位：%

| 状況 項目 | 2019年4~6月期 | | | | 2019年7~9月期 | | | | | 2019年10~12月期 | | | | |
|--------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|--------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|--------------|
| | 前期 実績 | | | | 今期 実績 | | | | | 来期 見通し | | | | |
| | 良い 増加 (A) | 普通 同程度 (B) | 悪い 減少 (C) | D. I. (A)-(C) | 良い 増加 (A) | 普通 同程度 (B) | 悪い 減少 (C) | D. I. (A)-(C) | 差 (今期-前期) | 良い 増加 (A) | 普通 同程度 (B) | 悪い 減少 (C) | D. I. (A)-(C) | 差 (来期-今期) |
| 自社の業況 | 11 | 61 | 28 | ▲17 | 8 | 62 | 30 | ↓▲22 | (▲5) | 7 | 68 | 25 | ↑▲18 | (4) |
| 製造業 | 9 | 53 | 38 | ▲29 | 7 | 58 | 35 | ↑▲28 | (1) | 7 | 69 | 24 | ↑▲17 | (11) |
| 建設業 | 15 | 62 | 23 | ▲8 | 10 | 76 | 14 | ↑▲4 | (4) | 10 | 74 | 16 | ↓▲6 | (▲2) |
| 卸売業 | 5 | 67 | 28 | ▲23 | 3 | 61 | 36 | ↓▲33 | (▲10) | 8 | 61 | 31 | ↑▲23 | (10) |
| 小売業 | 11 | 57 | 32 | ▲21 | 9 | 65 | 26 | ↑▲17 | (4) | 5 | 60 | 35 | ↓▲30 | (▲13) |
| その他産業 | 13 | 67 | 20 | ▲7 | 10 | 58 | 32 | ↓▲22 | (▲15) | 7 | 69 | 24 | ↑▲17 | (5) |
| 生産高(製造業) | 16 | 50 | 34 | ▲18 | 14 | 51 | 35 | ↓▲21 | (▲3) | 12 | 58 | 30 | ↑▲18 | (3) |
| 売上・完工高 | 19 | 48 | 33 | ▲14 | 18 | 48 | 34 | ↓▲16 | (▲2) | 13 | 58 | 29 | -▲16 | (0) |
| 製造業 | 17 | 40 | 43 | ▲26 | 17 | 40 | 43 | -▲26 | (0) | 14 | 53 | 33 | ↑▲19 | (7) |
| 建設業 | 17 | 52 | 31 | ▲14 | 16 | 68 | 16 | ↑0 | (14) | 4 | 74 | 22 | ↓▲18 | (▲18) |
| 卸売業 | 19 | 53 | 28 | ▲9 | 6 | 58 | 36 | ↓▲30 | (▲21) | 8 | 67 | 25 | ↑▲17 | (13) |
| 小売業 | 19 | 52 | 29 | ▲10 | 19 | 52 | 29 | -▲10 | (0) | 12 | 56 | 32 | ↓▲20 | (▲10) |
| その他産業 | 23 | 49 | 28 | ▲5 | 22 | 42 | 36 | ↓▲14 | (▲9) | 17 | 56 | 27 | ↑▲10 | (4) |
| 製品・商品在庫 (適正水準比) | 過剰 | 適正 | 不足 | | 過剰 | 適正 | 不足 | | | | | | | |
| | 13 | 80 | 7 | 6 | 9 | 84 | 7 | ↓2 | (▲4) | | | | | |
| 製造業 | 18 | 72 | 10 | 8 | 13 | 80 | 7 | ↓6 | (▲2) | | | | | |
| 建設業 | 0 | 95 | 5 | ▲5 | 2 | 93 | 5 | ↑▲3 | (2) | | | | | |
| 卸売業 | 14 | 86 | 0 | 14 | 17 | 77 | 6 | ↓11 | (▲3) | | | | | |
| 小売業 | 23 | 71 | 6 | 17 | 16 | 79 | 5 | ↓11 | (▲6) | | | | | |
| その他産業 | 8 | 84 | 8 | 0 | 0 | 90 | 10 | ↓▲10 | (▲10) | | | | | |
| 損益 | 好転 | 横ばい | 悪化 | | 好転 | 横ばい | 悪化 | | | 好転 | 横ばい | 悪化 | | |
| | 14 | 57 | 29 | ▲15 | 14 | 55 | 31 | ↓▲17 | (▲2) | 10 | 64 | 26 | ↑▲16 | (1) |
| 製造業 | 15 | 42 | 43 | ▲28 | 12 | 51 | 37 | ↑▲25 | (3) | 9 | 64 | 27 | ↑▲18 | (7) |
| 建設業 | 9 | 72 | 19 | ▲10 | 10 | 72 | 18 | ↑▲8 | (2) | 8 | 78 | 14 | ↑▲6 | (2) |
| 卸売業 | 14 | 61 | 25 | ▲11 | 8 | 67 | 25 | ↓▲17 | (▲6) | 11 | 72 | 17 | ↑▲6 | (11) |
| 小売業 | 15 | 64 | 21 | ▲6 | 16 | 49 | 35 | ↓▲19 | (▲13) | 9 | 56 | 35 | ↓▲26 | (▲7) |
| その他産業 | 17 | 59 | 24 | ▲7 | 18 | 51 | 31 | ↓▲13 | (▲6) | 11 | 60 | 29 | ↓▲18 | (▲5) |
| 販売価格 | 上昇 | 横ばい | 低下 | | 上昇 | 横ばい | 低下 | | | 上昇 | 横ばい | 低下 | | |
| | 18 | 72 | 10 | 8 | 18 | 72 | 10 | -8 | (0) | 23 | 67 | 10 | ↑13 | (5) |
| 製造業 | 15 | 72 | 13 | 2 | 13 | 74 | 13 | ↓0 | (▲2) | 14 | 72 | 14 | -0 | (0) |
| 建設業 | 8 | 81 | 11 | ▲3 | 21 | 71 | 8 | ↑13 | (16) | 22 | 68 | 10 | ↓12 | (▲1) |
| 卸売業 | 28 | 64 | 8 | 20 | 20 | 69 | 11 | ↓9 | (▲11) | 31 | 63 | 6 | ↑25 | (16) |
| 小売業 | 31 | 63 | 6 | 25 | 26 | 67 | 7 | ↓19 | (▲6) | 32 | 57 | 11 | ↑21 | (2) |
| その他産業 | 16 | 76 | 8 | 8 | 18 | 74 | 8 | ↑10 | (2) | 24 | 71 | 5 | ↑19 | (9) |
| 仕入価格 | 上昇 | 横ばい | 低下 | | 上昇 | 横ばい | 低下 | | | 上昇 | 横ばい | 低下 | | |
| | 42 | 52 | 6 | 36 | 37 | 56 | 7 | ↓30 | (▲6) | 39 | 55 | 6 | ↑33 | (3) |
| 製造業 | 55 | 38 | 7 | 48 | 37 | 54 | 9 | ↓28 | (▲20) | 38 | 53 | 9 | ↑29 | (1) |
| 建設業 | 41 | 55 | 4 | 37 | 45 | 51 | 4 | ↑41 | (4) | 45 | 49 | 6 | ↓39 | (▲2) |
| 卸売業 | 33 | 56 | 11 | 22 | 26 | 65 | 9 | ↓17 | (▲5) | 40 | 57 | 3 | ↑37 | (20) |
| 小売業 | 33 | 63 | 4 | 29 | 35 | 56 | 9 | ↓26 | (▲3) | 36 | 60 | 4 | ↑32 | (6) |
| その他産業 | 38 | 59 | 3 | 35 | 36 | 58 | 6 | ↓30 | (▲5) | 38 | 56 | 6 | ↑32 | (2) |
| 資金繰り | 楽 | 普通 | 窮屈 | | 楽 | 普通 | 窮屈 | | | 楽 | 普通 | 窮屈 | | |
| | 8 | 80 | 12 | ▲4 | 9 | 77 | 14 | ↓▲5 | (▲1) | 7 | 78 | 15 | ↓▲8 | (▲3) |
| 製造業 | 8 | 80 | 12 | ▲4 | 8 | 74 | 18 | ↓▲10 | (▲6) | 7 | 76 | 17 | -▲10 | (0) |
| 建設業 | 6 | 86 | 8 | ▲2 | 14 | 72 | 14 | ↑0 | (2) | 8 | 78 | 14 | ↓▲6 | (▲6) |
| 卸売業 | 3 | 92 | 5 | ▲2 | 6 | 83 | 11 | ↓▲5 | (▲3) | 6 | 83 | 11 | -▲5 | (0) |
| 小売業 | 8 | 72 | 20 | ▲12 | 3 | 83 | 14 | ↑▲11 | (1) | 4 | 80 | 16 | ↓▲12 | (▲1) |
| その他産業 | 10 | 79 | 11 | ▲1 | 13 | 76 | 11 | ↑2 | (3) | 10 | 77 | 13 | ↓▲3 | (▲5) |
| 雇用人員 | 過剰 | 適正 | 不足 | | 過剰 | 適正 | 不足 | | | 過剰 | 適正 | 不足 | | |
| | 3 | 57 | 40 | ▲37 | 5 | 47 | 48 | ↓▲43 | (▲6) | 2 | 51 | 47 | ↓▲45 | (▲2) |
| 製造業 | 9 | 59 | 32 | ▲23 | 8 | 49 | 43 | ↓▲35 | (▲12) | 3 | 57 | 40 | ↓▲37 | (▲2) |
| 建設業 | 0 | 58 | 42 | ▲42 | 4 | 36 | 60 | ▲58 | (▲14) | 2 | 36 | 62 | ▲60 | (▲4) |
| 卸売業 | 0 | 67 | 33 | ▲33 | 3 | 66 | 31 | ↑▲26 | (5) | 0 | 75 | 25 | ↑▲25 | (3) |
| 小売業 | 2 | 45 | 53 | ▲51 | 0 | 45 | 55 | ↓▲55 | (▲4) | 0 | 46 | 54 | ↑▲54 | (1) |
| その他産業 | 1 | 56 | 43 | ▲42 | 4 | 45 | 51 | ↓▲47 | (▲5) | 3 | 47 | 50 | -▲47 | (0) |

図表2 業況D.I.(中分類)

| | 2019年4~6月期 | | 2019年7~9月期 | | 2019年10~12月期 | |
|--------------|------------|------|------------|-------|--------------|--|
| | 前期 | 今期実績 | 差(今期-前期) | 来期見通し | 差(来期-今期) | |
| 全業種 | ▲ 17 | ▲ 22 | ▲ 5 | ▲ 18 | 4 | |
| 製造業 | ▲ 29 | ▲ 28 | ▲ 1 | ▲ 17 | 11 | |
| 食料品 | ▲ 28 | ▲ 36 | ▲ 8 | ▲ 21 | 15 | |
| 繊維 | 100 | ▲ 50 | ▲ 150 | 0 | 50 | |
| 木材 | ▲ 34 | ▲ 29 | ▲ 5 | 0 | 29 | |
| 紙・パルプ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 窯業・土石 | 0 | ▲ 20 | ▲ 20 | 0 | 20 | |
| 機械・金属 | ▲ 47 | ▲ 19 | 28 | ▲ 38 | ▲ 19 | |
| 電機・電子 | ▲ 34 | ▲ 18 | 16 | ▲ 18 | 0 | |
| その他 | ▲ 33 | ▲ 12 | 21 | 0 | 12 | |
| 建設業 | ▲ 8 | ▲ 4 | ▲ 4 | ▲ 6 | ▲ 2 | |
| 土木 | 6 | 6 | 0 | ▲ 13 | ▲ 19 | |
| 建築 | ▲ 33 | ▲ 14 | 19 | ▲ 7 | 7 | |
| 総合建設 | ▲ 18 | 0 | 18 | 0 | 0 | |
| その他 | 10 | ▲ 10 | ▲ 20 | 0 | 10 | |
| 卸売業 | ▲ 23 | ▲ 33 | ▲ 10 | ▲ 23 | 10 | |
| 食料品 | ▲ 15 | ▲ 39 | ▲ 24 | ▲ 23 | 16 | |
| 建設資材 | ▲ 14 | ▲ 11 | 3 | 11 | 22 | |
| 家電卸売 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | ▲ 36 | ▲ 50 | ▲ 14 | ▲ 50 | 0 | |
| 小売業 | ▲ 21 | ▲ 17 | ▲ 4 | ▲ 30 | ▲ 13 | |
| 百貨店・スーパー | ▲ 40 | ▲ 47 | ▲ 7 | ▲ 40 | 7 | |
| 衣料品 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 自動車 | ▲ 30 | 0 | 30 | ▲ 27 | ▲ 27 | |
| 家電製品 | ▲ 33 | 0 | 33 | ▲ 100 | ▲ 100 | |
| 石油・ガス | ▲ 16 | ▲ 15 | 1 | ▲ 29 | ▲ 14 | |
| その他 | 0 | ▲ 9 | ▲ 9 | ▲ 15 | ▲ 6 | |
| その他産業 | ▲ 7 | ▲ 22 | ▲ 15 | ▲ 17 | 5 | |
| 旅館・ホテル | ▲ 11 | ▲ 25 | ▲ 14 | ▲ 19 | 6 | |
| 運輸・通信 | 5 | 0 | ▲ 5 | 4 | 4 | |
| 外食 | ▲ 24 | ▲ 83 | ▲ 59 | ▲ 50 | 33 | |
| その他サービス | ▲ 14 | ▲ 28 | ▲ 14 | ▲ 22 | 6 | |

図表3 売上・完工高D.I.(中分類)

| | 2019年4~6月期 | | 2019年7~9月期 | | 2019年10~12月期 | |
|--------------|------------|-------|------------|-------|--------------|--|
| | 前期 | 今期実績 | 差(今期-前期) | 来期見通し | 差(来期-今期) | |
| 全業種 | ▲ 14 | ▲ 16 | ▲ 2 | ▲ 16 | 0 | |
| 製造業 | ▲ 26 | ▲ 26 | 0 | ▲ 19 | 7 | |
| 食料品 | ▲ 24 | ▲ 32 | ▲ 8 | ▲ 21 | 11 | |
| 繊維 | 100 | 0 | ▲ 100 | ▲ 50 | ▲ 50 | |
| 木材 | ▲ 49 | ▲ 29 | 20 | 0 | 29 | |
| 紙・パルプ | ▲ 100 | ▲ 100 | 0 | 100 | 200 | |
| 窯業・土石 | 0 | ▲ 40 | ▲ 40 | ▲ 20 | 20 | |
| 機械・金属 | ▲ 33 | ▲ 25 | 8 | ▲ 37 | ▲ 12 | |
| 電機・電子 | ▲ 37 | 10 | 47 | 0 | ▲ 10 | |
| その他 | ▲ 33 | ▲ 13 | 20 | ▲ 13 | 0 | |
| 建設業 | ▲ 14 | 0 | 14 | ▲ 18 | ▲ 18 | |
| 土木 | ▲ 20 | ▲ 14 | 6 | ▲ 20 | ▲ 6 | |
| 建築 | ▲ 17 | 0 | 17 | ▲ 22 | ▲ 22 | |
| 総合建設 | ▲ 36 | 9 | 45 | ▲ 20 | ▲ 29 | |
| その他 | 20 | 10 | ▲ 10 | ▲ 10 | ▲ 20 | |
| 卸売業 | ▲ 9 | ▲ 30 | ▲ 21 | ▲ 17 | 13 | |
| 食料品 | 7 | ▲ 31 | ▲ 38 | ▲ 7 | 24 | |
| 建設資材 | 28 | ▲ 33 | ▲ 61 | ▲ 11 | 22 | |
| 家電卸売 | 0 | ▲ 50 | ▲ 50 | 0 | 50 | |
| その他 | ▲ 43 | ▲ 25 | 18 | ▲ 34 | ▲ 9 | |
| 小売業 | ▲ 10 | ▲ 10 | 0 | ▲ 20 | ▲ 10 | |
| 百貨店・スーパー | ▲ 20 | ▲ 40 | ▲ 20 | ▲ 27 | 13 | |
| 衣料品 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 自動車 | 0 | 18 | 18 | 0 | ▲ 18 | |
| 家電製品 | ▲ 33 | 34 | 67 | ▲ 100 | ▲ 134 | |
| 石油・ガス | ▲ 60 | ▲ 43 | 17 | ▲ 43 | 0 | |
| その他 | 11 | 0 | ▲ 11 | ▲ 5 | ▲ 5 | |
| その他産業 | ▲ 5 | ▲ 14 | ▲ 9 | ▲ 10 | 4 | |
| 旅館・ホテル | ▲ 11 | ▲ 20 | ▲ 9 | ▲ 19 | 1 | |
| 運輸・通信 | 10 | 39 | 29 | 13 | ▲ 26 | |
| 外食 | 0 | ▲ 67 | ▲ 67 | ▲ 33 | 34 | |
| その他サービス | ▲ 13 | ▲ 29 | ▲ 16 | ▲ 16 | 13 | |

図表4 損益D.I.(中分類)

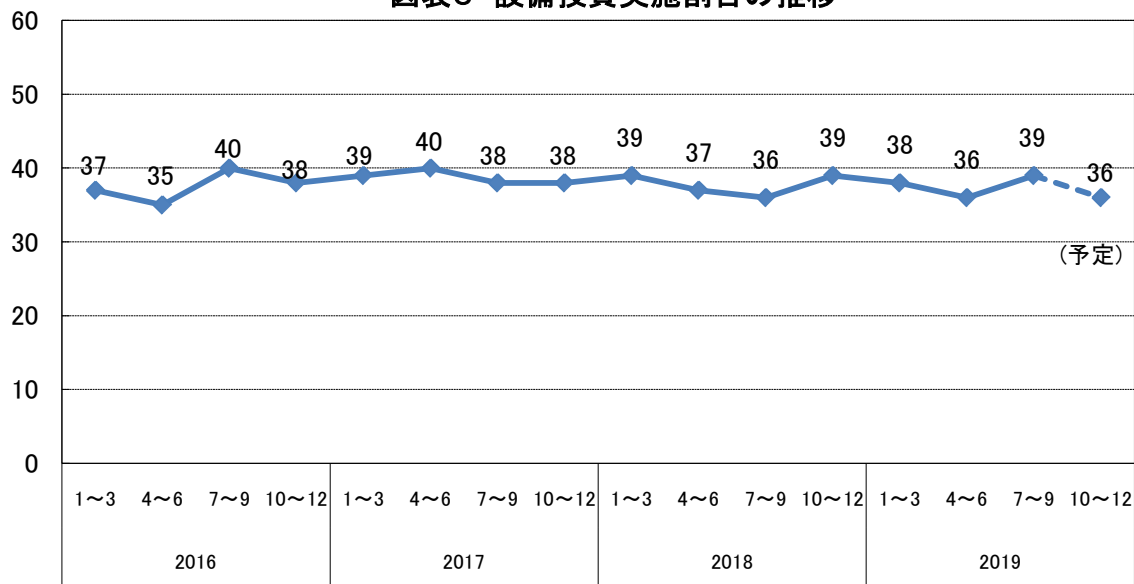
| | 2019年4～6月期 | 2019年7～9月期 | | 2019年10～12月期 | |
|--------------|------------|------------|----------|--------------|----------|
| | 前期 | 今期実績 | 差(今期-前期) | 来期見通し | 差(来期-今期) |
| 全業種 | ▲ 15 | ▲ 17 | ▲ 2 | ▲ 16 | 1 |
| 製造業 | ▲ 28 | ▲ 25 | ▲ 3 | ▲ 18 | 7 |
| 食料品 | ▲ 29 | ▲ 29 | 0 | ▲ 18 | 11 |
| 繊維 | 100 | 0 | ▲ 100 | ▲ 50 | ▲ 50 |
| 木材 | ▲ 83 | ▲ 29 | 54 | ▲ 15 | 14 |
| 紙・パルプ | ▲ 100 | ▲ 100 | 0 | 0 | 100 |
| 窯業・土石 | ▲ 20 | ▲ 20 | 0 | ▲ 20 | 0 |
| 機械・金属 | ▲ 13 | ▲ 25 | ▲ 12 | ▲ 32 | ▲ 7 |
| 電機・電子 | ▲ 25 | ▲ 18 | 7 | 0 | 18 |
| その他 | ▲ 17 | ▲ 12 | 5 | 0 | 12 |
| 建設業 | ▲ 10 | ▲ 8 | 2 | ▲ 6 | 2 |
| 土木 | ▲ 6 | ▲ 7 | ▲ 1 | 0 | 7 |
| 建築 | ▲ 16 | ▲ 7 | 9 | ▲ 7 | 0 |
| 総合建設 | ▲ 20 | ▲ 9 | 11 | ▲ 20 | ▲ 11 |
| その他 | 0 | ▲ 10 | ▲ 10 | 0 | 10 |
| 卸売業 | ▲ 11 | ▲ 17 | ▲ 6 | ▲ 6 | 11 |
| 食料品 | 8 | ▲ 23 | ▲ 31 | 7 | 30 |
| 建設資材 | ▲ 29 | 0 | 29 | 0 | 0 |
| 家電卸売 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | ▲ 22 | ▲ 25 | ▲ 3 | ▲ 25 | 0 |
| 小売業 | ▲ 6 | ▲ 19 | ▲ 13 | ▲ 26 | ▲ 7 |
| 百貨店・スーパー | ▲ 20 | ▲ 33 | ▲ 13 | ▲ 40 | ▲ 7 |
| 衣料品 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 自動車 | 0 | 9 | 9 | 0 | ▲ 9 |
| 家電製品 | 0 | 0 | 0 | ▲ 100 | ▲ 100 |
| 石油・ガス | 0 | 0 | 0 | ▲ 29 | ▲ 29 |
| その他 | 0 | ▲ 33 | ▲ 33 | ▲ 19 | 14 |
| その他産業 | ▲ 7 | ▲ 13 | ▲ 6 | ▲ 18 | ▲ 5 |
| 旅館・ホテル | 12 | ▲ 27 | ▲ 39 | ▲ 47 | ▲ 20 |
| 運輸・通信 | ▲ 5 | 22 | 27 | 13 | ▲ 9 |
| 外食 | ▲ 24 | ▲ 67 | ▲ 43 | ▲ 67 | 0 |
| その他サービス | ▲ 15 | ▲ 23 | ▲ 8 | ▲ 23 | 0 |

図表5 資金繰りD.I.(中分類)

| | 2019年4～6月期 | 2019年7～9月期 | | 2019年10～12月期 | |
|--------------|------------|------------|----------|--------------|----------|
| | 前期 | 今期実績 | 差(今期-前期) | 来期見通し | 差(来期-今期) |
| 全業種 | ▲ 4 | ▲ 5 | ▲ 1 | ▲ 8 | ▲ 3 |
| 製造業 | ▲ 4 | ▲ 10 | ▲ 6 | ▲ 10 | 0 |
| 食料品 | ▲ 4 | ▲ 15 | ▲ 11 | ▲ 15 | 0 |
| 繊維 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 木材 | ▲ 17 | ▲ 43 | ▲ 26 | ▲ 29 | 14 |
| 紙・パルプ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 窯業・土石 | ▲ 10 | ▲ 10 | 0 | ▲ 10 | 0 |
| 機械・金属 | ▲ 6 | 13 | 19 | 0 | ▲ 13 |
| 電機・電子 | 0 | ▲ 10 | ▲ 10 | ▲ 10 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 13 | 13 |
| 建設業 | ▲ 2 | 0 | 2 | ▲ 6 | ▲ 6 |
| 土木 | ▲ 7 | 13 | 20 | 0 | ▲ 13 |
| 建築 | 17 | 7 | ▲ 10 | 0 | ▲ 7 |
| 総合建設 | ▲ 27 | ▲ 18 | 9 | ▲ 27 | ▲ 9 |
| その他 | 10 | ▲ 10 | ▲ 20 | 0 | 10 |
| 卸売業 | ▲ 2 | ▲ 5 | ▲ 3 | ▲ 5 | 0 |
| 食料品 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 建設資材 | ▲ 14 | ▲ 11 | 3 | ▲ 11 | 0 |
| 家電卸売 | 50 | 50 | 0 | 50 | 0 |
| その他 | ▲ 7 | ▲ 17 | ▲ 10 | ▲ 17 | 0 |
| 小売業 | ▲ 12 | ▲ 11 | 1 | ▲ 12 | ▲ 1 |
| 百貨店・スーパー | ▲ 21 | ▲ 20 | 1 | ▲ 20 | 0 |
| 衣料品 | ▲ 100 | ▲ 100 | 0 | ▲ 100 | 0 |
| 自動車 | ▲ 22 | ▲ 18 | 4 | ▲ 18 | 0 |
| 家電製品 | 33 | 33 | 0 | 33 | 0 |
| 石油・ガス | 17 | 0 | ▲ 17 | 0 | 0 |
| その他 | ▲ 12 | ▲ 5 | 7 | ▲ 10 | ▲ 5 |
| その他産業 | ▲ 1 | 2 | 3 | ▲ 3 | ▲ 5 |
| 旅館・ホテル | 0 | 6 | 6 | ▲ 6 | ▲ 12 |
| 運輸・通信 | ▲ 10 | 5 | 15 | ▲ 9 | ▲ 14 |
| 外食 | 0 | 0 | 0 | ▲ 33 | ▲ 33 |
| その他サービス | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |

(%)

図表6 設備投資実施割合の推移



図表7 設備投資

単位:%

| | | 全産業 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | その他産業 | |
|----------------------------|------|-------------|-----|-----|-----|-----|-------|----|
| 2019年 7~9月 (今期実績) | 実施した | 39 | 49 | 22 | 28 | 32 | 46 | |
| | 投資目的 | 設備の維持・更新 | 76 | 69 | 82 | 90 | 77 | 79 |
| | | 生産・販売能力増強 | 34 | 33 | 36 | 10 | 53 | 33 |
| | | 省力化・合理化・省エネ | 20 | 21 | 27 | 0 | 18 | 21 |
| | | 経営多角化 | 6 | 6 | 0 | 20 | 6 | 4 |
| | | 新製品等の研究開発 | 6 | 12 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | | その他 | 6 | 6 | 0 | 0 | 6 | 8 |
| 実施しなかった | 61 | 51 | 78 | 72 | 68 | 54 | | |
| 2019年 10~12月 (来期見通し) | 実施予定 | 36 | 43 | 23 | 17 | 35 | 44 | |
| | 投資目的 | 設備の維持・更新 | 71 | 63 | 82 | 100 | 65 | 76 |
| | | 生産・販売能力増強 | 43 | 41 | 55 | 17 | 55 | 39 |
| | | 省力化・合理化・省エネ | 19 | 17 | 36 | 0 | 20 | 20 |
| | | 経営多角化 | 7 | 11 | 0 | 17 | 10 | 2 |
| | | 新製品等の研究開発 | 7 | 15 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | | その他 | 5 | 7 | 0 | 0 | 10 | 4 |
| 実施予定なし | 64 | 57 | 77 | 83 | 65 | 56 | | |

(注) 計数は構成割合、投資目的は複数回答。

図表8 設備投資の合計金額(実額)

[今期] (単位: 億円、%)

| | 全産業 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | その他産業 |
|------------------|------|------|--------|--------|--------|-------|
| 今期(2019年7~9月期) | 180 | 109 | 2 | 2 | 13 | 54 |
| 前年同期(2018年7~9月期) | 157 | 78 | 3 | 8 | 29 | 40 |
| 今期増減率 | 14.6 | 39.7 | ▲ 33.3 | ▲ 75.0 | ▲ 55.2 | 35.0 |

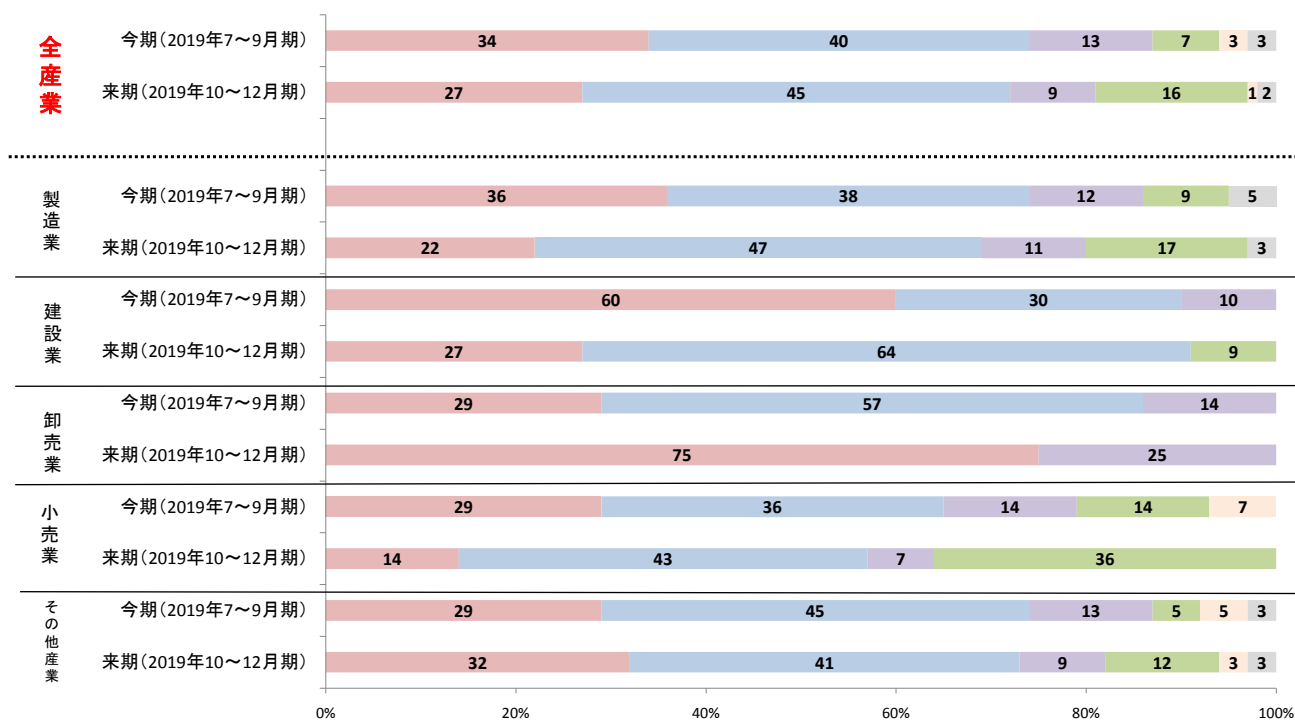
注) 回答企業の単純合計により算出している(下図も同様)。

[来期] (単位: 億円、%)

| | 全産業 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | その他産業 |
|----------------------|------|------|--------|-----|------|-------|
| 来期(2019年10~12月期) 見込み | 157 | 84 | 5 | 1 | 17 | 51 |
| 前年同期(2018年10~12月期) | 126 | 69 | 7 | 0 | 13 | 38 |
| 来期増減率 | 24.6 | 21.7 | ▲ 28.6 | 全増 | 30.8 | 34.2 |

図表9 1社当たり設備投資の金額別構成比

■ 1千万円未満 ■ 1~5千万円未満 ■ 5千万~1億円未満 ■ 1~5億円未満 ■ 5~10億円未満 ■ 10億円以上



※標本数

| | 全業種 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | その他産業 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 今期 | 111 | 42 | 10 | 7 | 14 | 38 |
| 来期 | 99 | 36 | 11 | 4 | 14 | 34 |

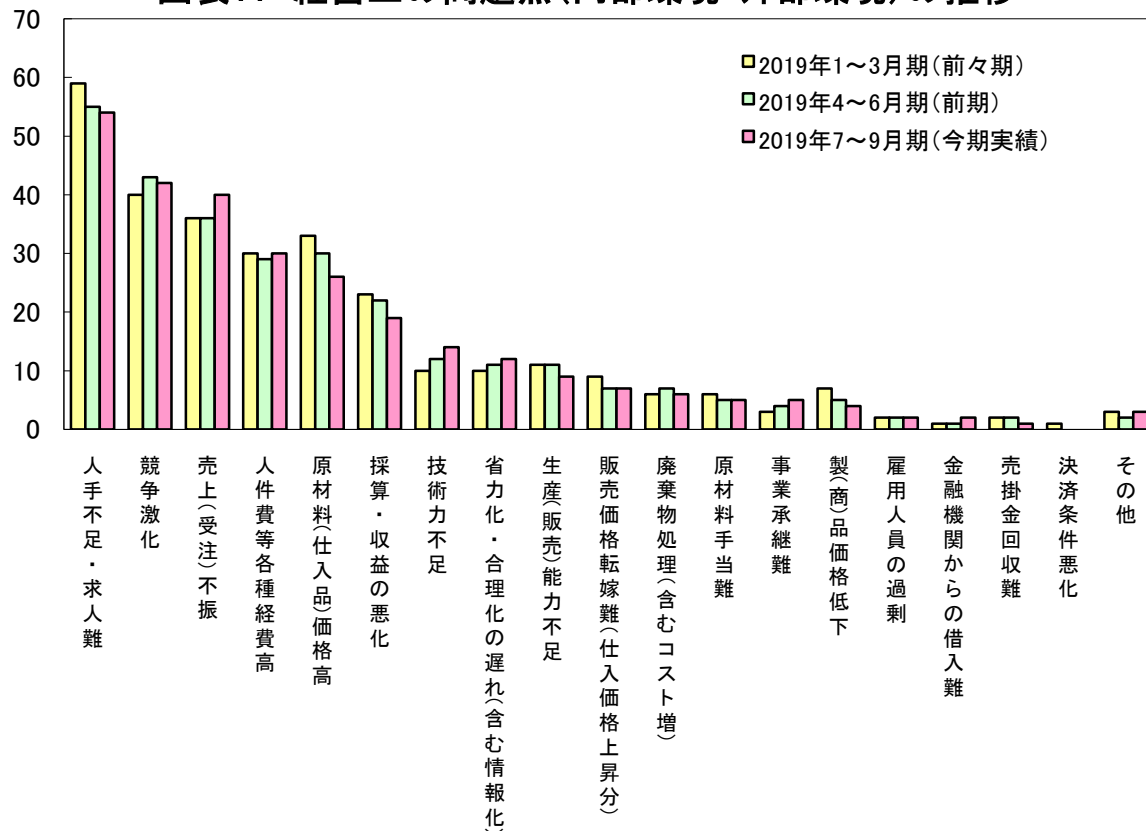
図表10 経営上の問題点(内部環境・外部環境)

単位:%

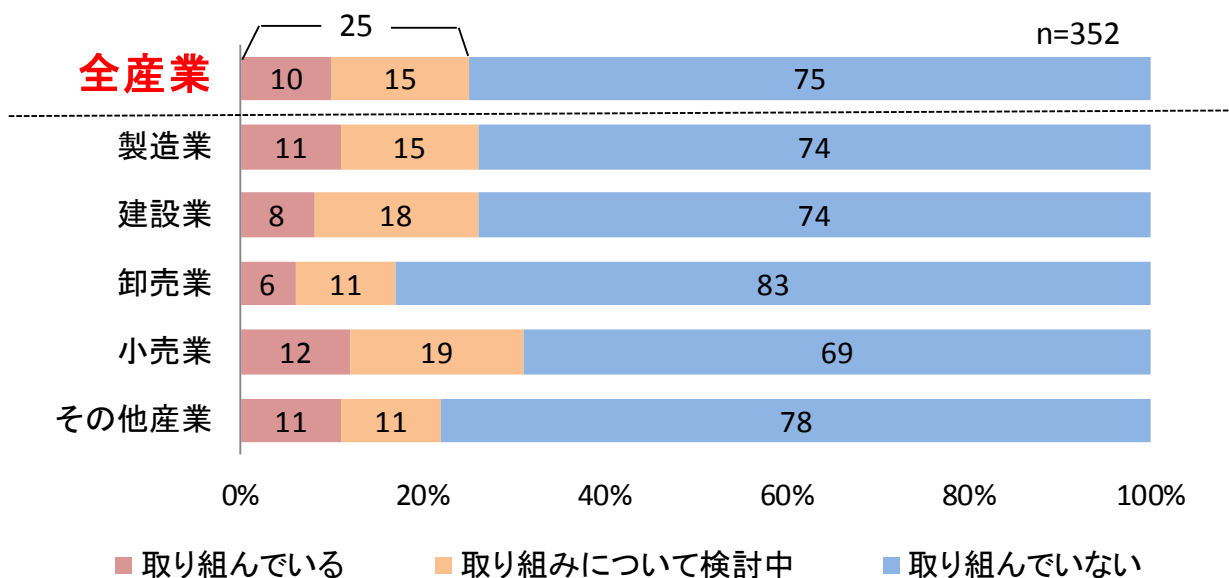
| | 全産業 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | その他産業 |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 人手不足・求人難 | 54 | 45 | 78 | 37 | 57 | 57 |
| 競争激化 | 42 | 27 | 55 | 43 | 66 | 37 |
| 売上(受注)不振 | 40 | 49 | 22 | 54 | 38 | 34 |
| 人件費等各種経費高 | 30 | 21 | 20 | 11 | 46 | 40 |
| 原材料(仕入品)価格高 | 26 | 34 | 22 | 17 | 21 | 24 |
| 採算・収益の悪化 | 19 | 19 | 12 | 17 | 27 | 20 |
| 技術力不足 | 14 | 14 | 22 | 6 | 18 | 11 |
| 省力化・合理化の遅れ(含む情報化) | 12 | 17 | 4 | 9 | 11 | 11 |
| 生産(販売)能力不足 | 9 | 10 | 14 | 6 | 7 | 7 |
| 販売価格転嫁難(仕入価格上昇分) | 7 | 10 | 2 | 3 | 5 | 9 |
| 廃棄物処理(含むコスト増) | 6 | 8 | 2 | 3 | 9 | 5 |
| 原材料手当難 | 5 | 10 | 4 | 0 | 2 | 2 |
| 事業継承難 | 5 | 7 | 8 | 0 | 5 | 4 |
| 製(商)品価格低下 | 4 | 7 | 2 | 6 | 0 | 4 |
| 金融機関からの借入難 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 |
| 雇用人員の過剰 | 2 | 3 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 売掛金回収難 | 1 | 1 | 0 | 9 | 2 | 0 |
| 決済条件悪化 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| その他 | 3 | 5 | 4 | 3 | 2 | 2 |

(注)複数回答

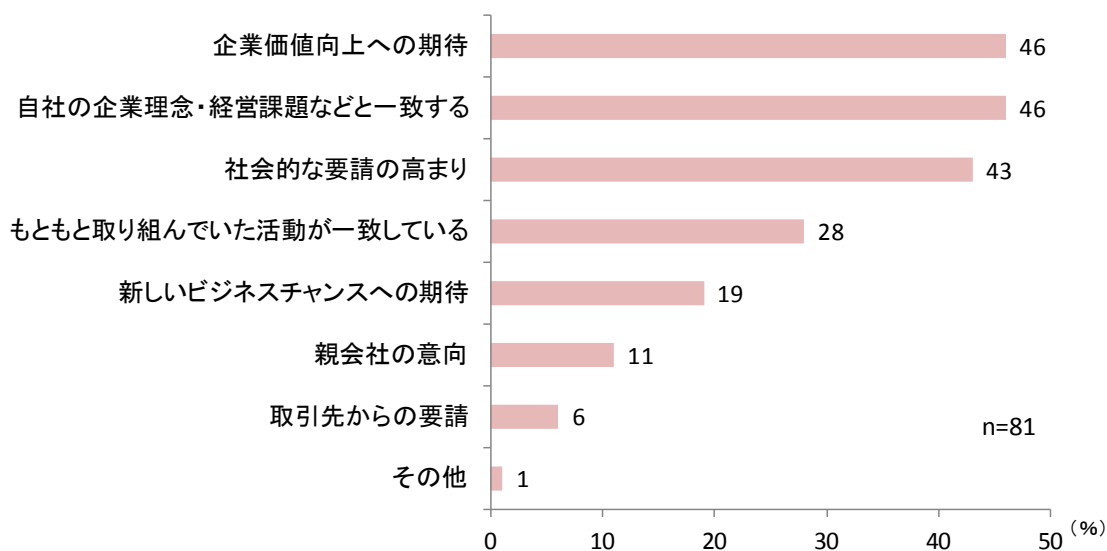
(%) 図表11 経営上の問題点(内部環境・外部環境)の推移



図表 12 SDGs に対する取り組み状況

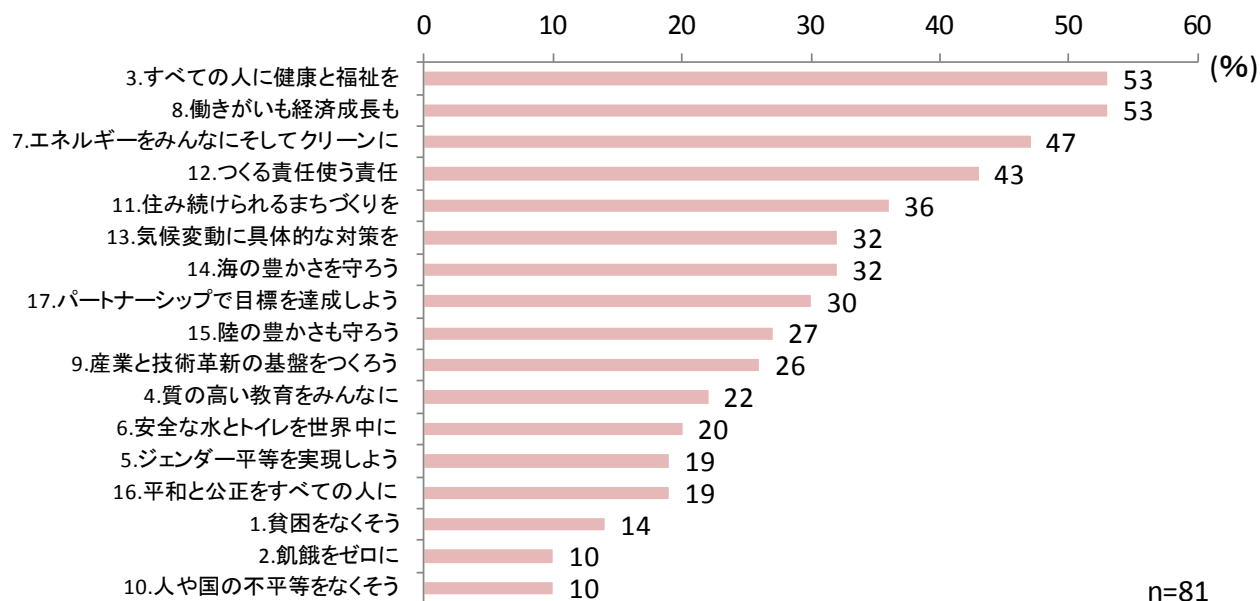


図表 13 取り組む理由



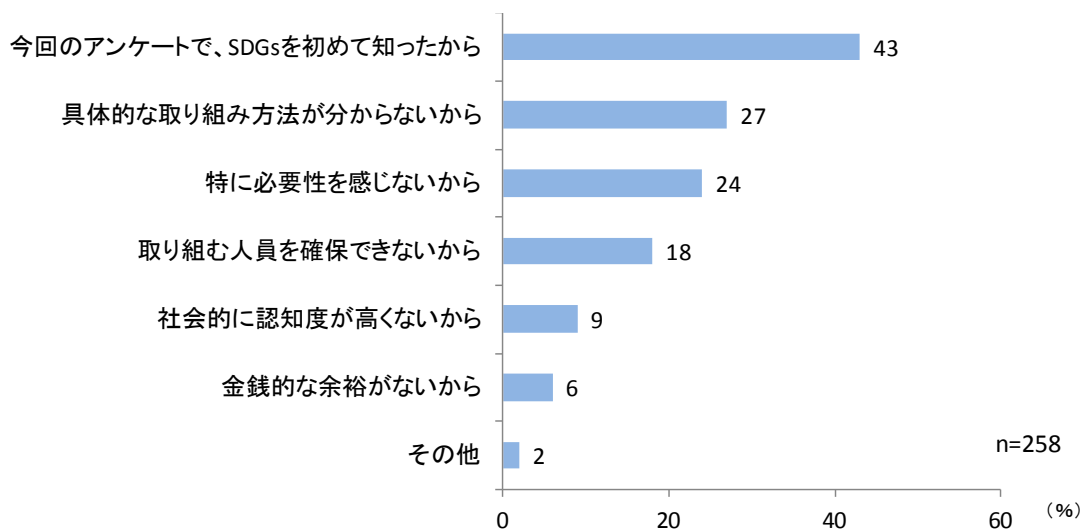
注)・「取り組んでいる」、「取り組みについて検討中」企業のみ回答
・複数回答

図表 14 SDGs の 17 の目標のなかで「取り組んでいる」もしくは「取り組みについて検討中」のもの



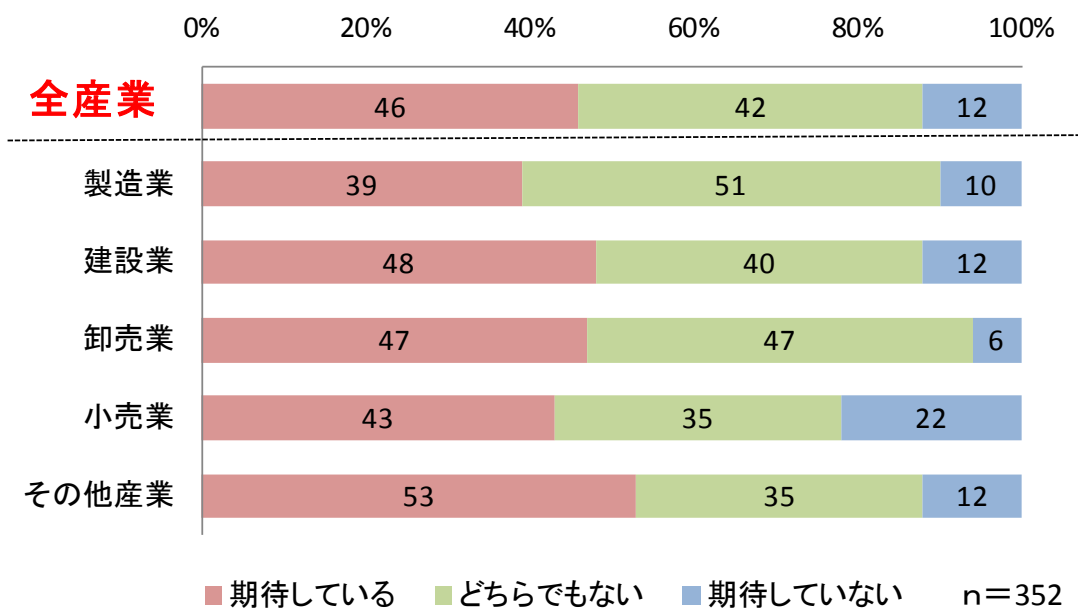
注)・「取り組んでいる」、「取り組みについて検討中」企業のみ回答
・複数回答

図表 15 取り組まない理由

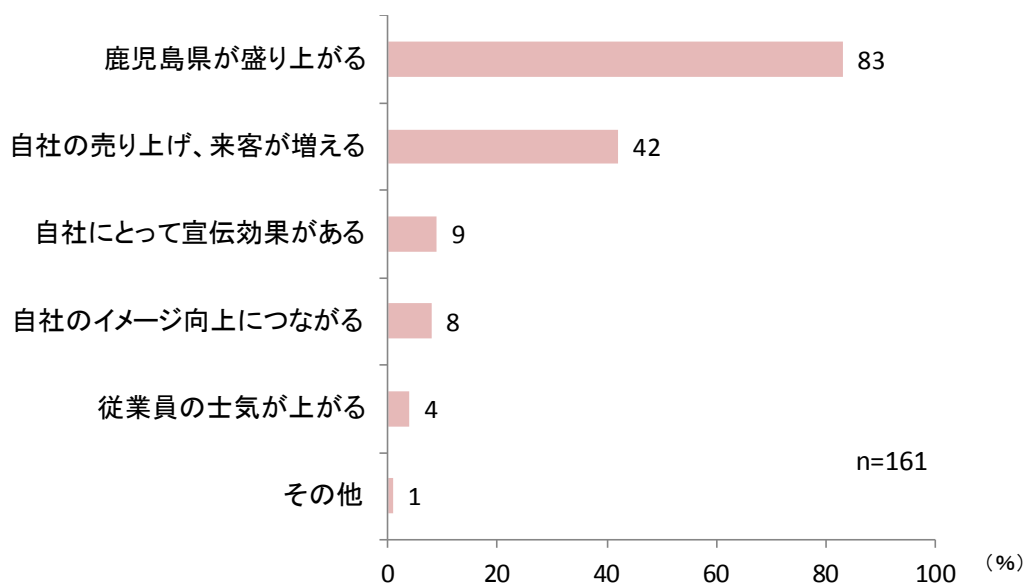


注)・「取り組んでいない」企業のみ回答
・複数回答

図表 16 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会に対する期待

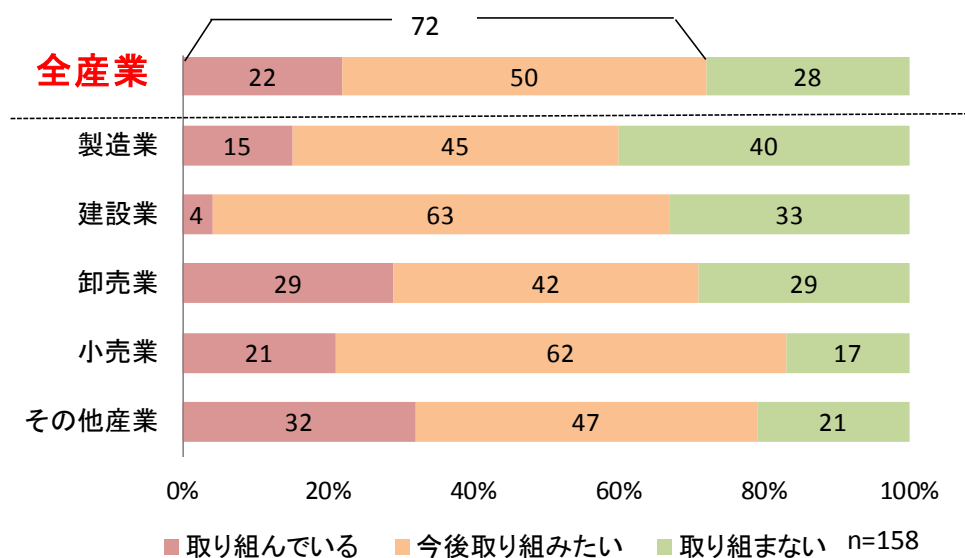


図表 17 期待すること



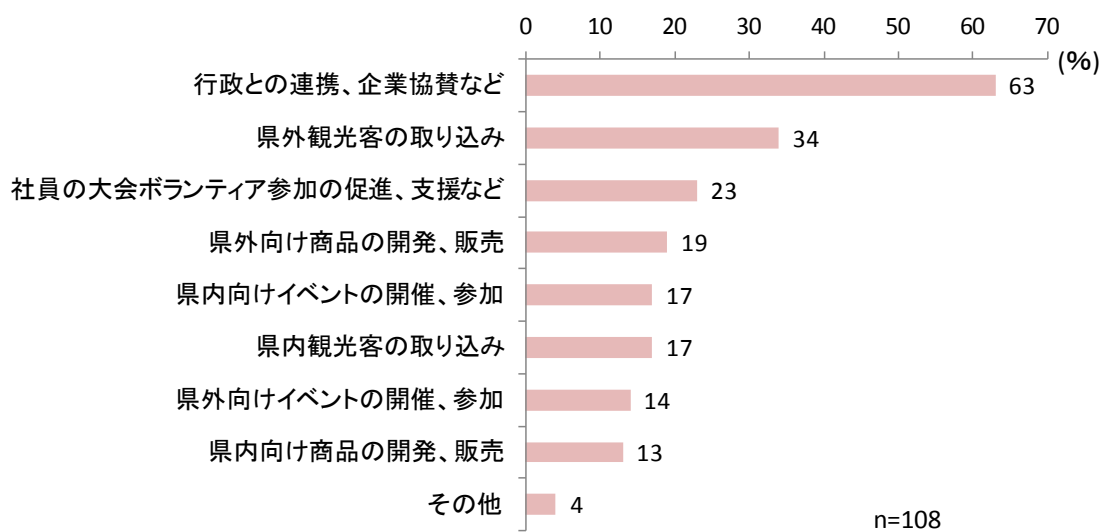
注)・「期待する」企業のみ回答
・複数回答

図表 18 具体的な取り組みの有無



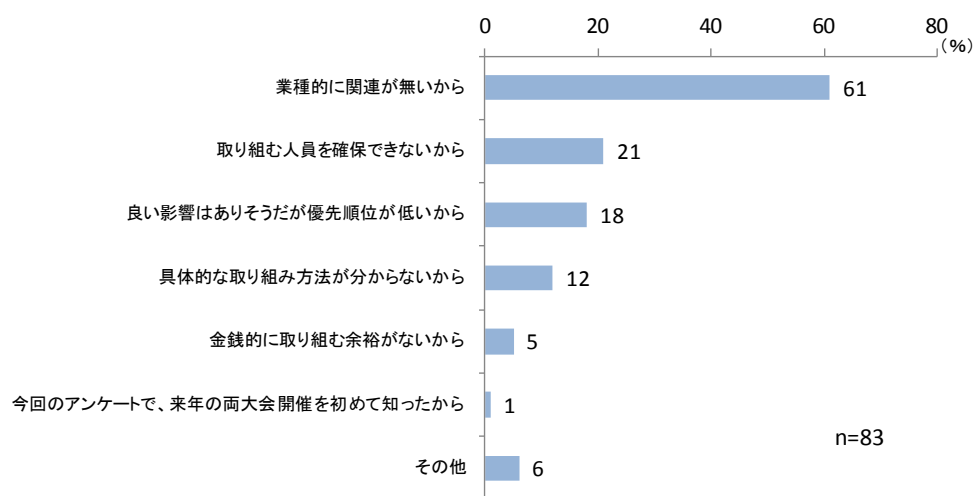
注)「期待している」企業のみ回答

図表 19 取組をしている(したい)内容



注)・「取り組んでいる」「今後取り組みたい」企業のみ回答
・複数回答

図表 20 期待しない、取り組まない理由



注)・(両大会に)「期待しない」、「(具体的に)取り組まない」企業のみ回答
・複数回答

(参考)

回答率

| | 対象企業数 | 回答企業数 | 回答率(%) |
|-------------------|------------|------------|-------------|
| 製造業 | 147 | 108 | 73.5 |
| 食料品 | 77 | 53 | 68.8 |
| 繊維 | 3 | 2 | 66.7 |
| 木材 | 8 | 7 | 87.5 |
| 紙・パルプ | 3 | 1 | 33.3 |
| 窯業・土石 | 12 | 10 | 83.3 |
| 機械・金属 | 19 | 16 | 84.2 |
| 電機・電子 | 15 | 11 | 73.3 |
| その他 | 10 | 8 | 80.0 |
| 非製造業計 | 353 | 249 | 70.5 |
| 建設業 | 75 | 50 | 66.7 |
| 土木 | 21 | 15 | 71.4 |
| 建築 | 23 | 14 | 60.9 |
| 総合建設 | 15 | 11 | 73.3 |
| その他 | 16 | 10 | 62.5 |
| 卸売業 | 51 | 36 | 70.6 |
| 食料品 | 21 | 13 | 61.9 |
| 建設資材 | 11 | 9 | 81.8 |
| 家電卸売 | 3 | 2 | 66.7 |
| その他 | 16 | 12 | 75.0 |
| 小売業 | 82 | 58 | 70.7 |
| 百貨店・スーパー | 18 | 15 | 83.3 |
| 衣料品 | 4 | 1 | 25.0 |
| 自動車 | 15 | 11 | 73.3 |
| 家電製品 | 4 | 3 | 75.0 |
| 石油・ガス | 8 | 7 | 87.5 |
| その他 | 33 | 21 | 63.6 |
| その他産業 | 145 | 105 | 72.4 |
| 旅館・ホテル | 22 | 16 | 72.7 |
| 運輸 | 30 | 23 | 76.7 |
| 外食 | 11 | 6 | 54.5 |
| サービス | 72 | 53 | 73.6 |
| 農林水産 | 10 | 7 | 70.0 |
| 合計(製造+非製造) | 500 | 357 | 71.4 |

業況D. I. の推移

| | | 全産業 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | その他産業 |
|-------|-------------|------|------|------|------|------|-------|
| 2008年 | 7～9 月期 | ▲ 51 | ▲ 42 | ▲ 68 | ▲ 56 | ▲ 74 | ▲ 38 |
| | 10～12 " | ▲ 51 | ▲ 42 | ▲ 66 | ▲ 48 | ▲ 76 | ▲ 39 |
| 2009年 | 1～3 " | ▲ 53 | ▲ 48 | ▲ 63 | ▲ 38 | ▲ 71 | ▲ 45 |
| | 4～6 " | ▲ 56 | ▲ 59 | ▲ 65 | ▲ 42 | ▲ 63 | ▲ 48 |
| | 7～9 " | ▲ 46 | ▲ 45 | ▲ 53 | ▲ 38 | ▲ 42 | ▲ 49 |
| | 10～12 " | ▲ 43 | ▲ 33 | ▲ 45 | ▲ 56 | ▲ 50 | ▲ 43 |
| 2010年 | 1～3 " | ▲ 36 | ▲ 29 | ▲ 43 | ▲ 37 | ▲ 35 | ▲ 38 |
| | 4～6 " | ▲ 40 | ▲ 30 | ▲ 46 | ▲ 48 | ▲ 46 | ▲ 41 |
| | 7～9 " | ▲ 42 | ▲ 41 | ▲ 59 | ▲ 42 | ▲ 39 | ▲ 41 |
| | 10～12 " | ▲ 34 | ▲ 23 | ▲ 46 | ▲ 31 | ▲ 50 | ▲ 32 |
| 2011年 | 1～3 " | ▲ 31 | ▲ 30 | ▲ 33 | ▲ 21 | ▲ 30 | ▲ 37 |
| | 4～6 " | ▲ 29 | ▲ 22 | ▲ 44 | ▲ 55 | ▲ 25 | ▲ 17 |
| | 7～9 " | ▲ 30 | ▲ 29 | ▲ 41 | ▲ 31 | ▲ 46 | ▲ 19 |
| | 10～12 " | ▲ 20 | ▲ 19 | ▲ 36 | ▲ 21 | ▲ 37 | ▲ 3 |
| 2012年 | 1～3 " | ▲ 19 | ▲ 23 | ▲ 25 | ▲ 14 | ▲ 32 | ▲ 9 |
| | 4～6 " | ▲ 25 | ▲ 22 | ▲ 45 | ▲ 20 | ▲ 42 | ▲ 13 |
| | 7～9 " | ▲ 28 | ▲ 32 | ▲ 26 | ▲ 28 | ▲ 31 | ▲ 26 |
| | 10～12 " | ▲ 23 | ▲ 23 | ▲ 20 | ▲ 13 | ▲ 40 | ▲ 20 |
| 2013年 | 1～3 " | ▲ 21 | ▲ 34 | ▲ 4 | ▲ 29 | ▲ 21 | ▲ 15 |
| | 4～6 " | ▲ 16 | ▲ 27 | ▲ 6 | ▲ 17 | ▲ 31 | ▲ 3 |
| | 7～9 " | ▲ 10 | ▲ 20 | ▲ 4 | ▲ 7 | ▲ 15 | ▲ 7 |
| | 10～12 " | ▲ 4 | ▲ 14 | ▲ 21 | ▲ 0 | ▲ 9 | ▲ 4 |
| 2014年 | 1～3 " | ▲ 7 | ▲ 4 | ▲ 32 | ▲ 7 | ▲ 10 | ▲ 1 |
| | 4～6 " | ▲ 15 | ▲ 17 | ▲ 14 | ▲ 25 | ▲ 37 | ▲ 1 |
| | 7～9 " | ▲ 14 | ▲ 20 | ▲ 1 | ▲ 17 | ▲ 31 | ▲ 9 |
| | 10～12 " | ▲ 10 | ▲ 9 | ▲ 11 | ▲ 30 | ▲ 35 | ▲ 2 |
| 2015年 | 1～3 " | ▲ 13 | ▲ 16 | ▲ 3 | ▲ 24 | ▲ 23 | ▲ 11 |
| | 4～6 " | ▲ 20 | ▲ 29 | ▲ 17 | ▲ 25 | ▲ 37 | ▲ 7 |
| | 7～9 " | ▲ 17 | ▲ 25 | ▲ 17 | ▲ 5 | ▲ 24 | ▲ 12 |
| | 10～12 " | ▲ 10 | ▲ 16 | ▲ 2 | ▲ 15 | ▲ 24 | ▲ 1 |
| 2016年 | 1～3 " | ▲ 7 | ▲ 17 | ▲ 6 | ▲ 24 | ▲ 16 | ▲ 5 |
| | 4～6 " | ▲ 18 | ▲ 25 | ▲ 4 | ▲ 5 | ▲ 17 | ▲ 28 |
| | 7～9 " | ▲ 11 | ▲ 19 | ▲ 6 | ▲ 9 | ▲ 31 | ▲ 5 |
| | 10～12 " | ▲ 10 | ▲ 6 | ▲ 4 | ▲ 12 | ▲ 13 | ▲ 11 |
| 2017年 | 1～3 " | ▲ 10 | ▲ 25 | ▲ 15 | ▲ 7 | ▲ 17 | ▲ 5 |
| | 4～6 " | ▲ 4 | ▲ 16 | ▲ 10 | ▲ 5 | ▲ 6 | ▲ 1 |
| | 7～9 " | ▲ 2 | ▲ 7 | ▲ 8 | ▲ 16 | ▲ 5 | ▲ 1 |
| | 10～12 " | ▲ 1 | ▲ 6 | ▲ 6 | ▲ 10 | ▲ 12 | ▲ 3 |
| 2018年 | 1～3 " | ▲ 3 | ▲ 8 | ▲ 0 | ▲ 2 | ▲ 1 | ▲ 4 |
| | 4～6 " | ▲ 7 | ▲ 14 | ▲ 2 | ▲ 20 | ▲ 9 | ▲ 0 |
| | 7～9 " | ▲ 8 | ▲ 18 | ▲ 10 | ▲ 6 | ▲ 9 | ▲ 9 |
| | 10～12 " | ▲ 13 | ▲ 21 | ▲ 5 | ▲ 23 | ▲ 31 | ▲ 2 |
| 2019年 | 1～3 " | ▲ 16 | ▲ 32 | ▲ 0 | ▲ 25 | ▲ 17 | ▲ 7 |
| | 4～6 " | ▲ 17 | ▲ 29 | ▲ 8 | ▲ 23 | ▲ 21 | ▲ 7 |
| | 7～9 " | ▲ 22 | ▲ 28 | ▲ 4 | ▲ 33 | ▲ 17 | ▲ 22 |
| | 10～12 月期見通し | ▲ 18 | ▲ 17 | ▲ 6 | ▲ 23 | ▲ 30 | ▲ 17 |

(注)D. I. =「良い」-「悪い」

売上・完工高D. I. の推移

| | 全産業 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | その他産業 |
|--------------|------|------|------|------|------|-------|
| 2008年 7～9 月期 | ▲ 35 | ▲ 23 | ▲ 50 | ▲ 38 | ▲ 50 | ▲ 28 |
| 10～12 " | ▲ 36 | ▲ 28 | ▲ 46 | ▲ 29 | ▲ 59 | ▲ 27 |
| 2009年 1～3 " | ▲ 50 | ▲ 44 | ▲ 40 | ▲ 38 | ▲ 74 | ▲ 50 |
| 4～6 " | ▲ 55 | ▲ 53 | ▲ 56 | ▲ 52 | ▲ 69 | ▲ 50 |
| 7～9 " | ▲ 49 | ▲ 53 | ▲ 36 | ▲ 38 | ▲ 57 | ▲ 50 |
| 10～12 " | ▲ 47 | ▲ 39 | ▲ 38 | ▲ 65 | ▲ 49 | ▲ 53 |
| 2010年 1～3 " | ▲ 31 | ▲ 20 | ▲ 37 | ▲ 39 | ▲ 35 | ▲ 36 |
| 4～6 " | ▲ 28 | ▲ 23 | ▲ 30 | ▲ 8 | ▲ 36 | ▲ 35 |
| 7～9 " | ▲ 30 | ▲ 26 | ▲ 38 | ▲ 19 | ▲ 31 | ▲ 33 |
| 10～12 " | ▲ 24 | ▲ 25 | ▲ 41 | ▲ 5 | ▲ 41 | ▲ 14 |
| 2011年 1～3 " | ▲ 26 | ▲ 26 | ▲ 31 | ▲ 23 | ▲ 22 | ▲ 25 |
| 4～6 " | ▲ 21 | ▲ 9 | ▲ 31 | ▲ 49 | ▲ 25 | ▲ 15 |
| 7～9 " | ▲ 23 | ▲ 27 | ▲ 29 | ▲ 23 | ▲ 46 | ▲ 7 |
| 10～12 " | ▲ 10 | ▲ 10 | ▲ 30 | ▲ 10 | ▲ 14 | ▲ 3 |
| 2012年 1～3 " | ▲ 8 | ▲ 18 | ▲ 17 | ▲ 13 | ▲ 17 | ▲ 4 |
| 4～6 " | ▲ 16 | ▲ 12 | ▲ 25 | ▲ 3 | ▲ 34 | ▲ 9 |
| 7～9 " | ▲ 15 | ▲ 14 | ▲ 26 | ▲ 0 | ▲ 15 | ▲ 19 |
| 10～12 " | ▲ 14 | ▲ 16 | ▲ 5 | ▲ 0 | ▲ 27 | ▲ 16 |
| 2013年 1～3 " | ▲ 16 | ▲ 25 | ▲ 6 | ▲ 30 | ▲ 12 | ▲ 14 |
| 4～6 " | ▲ 4 | ▲ 12 | ▲ 2 | ▲ 0 | ▲ 11 | ▲ 3 |
| 7～9 " | ▲ 2 | ▲ 14 | ▲ 23 | ▲ 3 | ▲ 7 | ▲ 7 |
| 10～12 " | ▲ 11 | ▲ 6 | ▲ 34 | ▲ 18 | ▲ 16 | ▲ 10 |
| 2014年 1～3 " | ▲ 23 | ▲ 6 | ▲ 50 | ▲ 22 | ▲ 45 | ▲ 15 |
| 4～6 " | ▲ 5 | ▲ 15 | ▲ 6 | ▲ 12 | ▲ 20 | ▲ 8 |
| 7～9 " | ▲ 9 | ▲ 16 | ▲ 0 | ▲ 20 | ▲ 13 | ▲ 3 |
| 10～12 " | ▲ 12 | ▲ 17 | ▲ 2 | ▲ 34 | ▲ 27 | ▲ 0 |
| 2015年 1～3 " | ▲ 20 | ▲ 31 | ▲ 19 | ▲ 37 | ▲ 31 | ▲ 20 |
| 4～6 " | ▲ 24 | ▲ 35 | ▲ 16 | ▲ 34 | ▲ 16 | ▲ 14 |
| 7～9 " | ▲ 15 | ▲ 27 | ▲ 25 | ▲ 2 | ▲ 10 | ▲ 7 |
| 10～12 " | ▲ 8 | ▲ 20 | ▲ 11 | ▲ 4 | ▲ 10 | ▲ 3 |
| 2016年 1～3 " | ▲ 10 | ▲ 27 | ▲ 5 | ▲ 21 | ▲ 17 | ▲ 5 |
| 4～6 " | ▲ 24 | ▲ 25 | ▲ 10 | ▲ 26 | ▲ 33 | ▲ 25 |
| 7～9 " | ▲ 12 | ▲ 19 | ▲ 5 | ▲ 26 | ▲ 37 | ▲ 5 |
| 10～12 " | ▲ 7 | ▲ 11 | ▲ 1 | ▲ 2 | ▲ 3 | ▲ 10 |
| 2017年 1～3 " | ▲ 2 | ▲ 22 | ▲ 20 | ▲ 5 | ▲ 9 | ▲ 1 |
| 4～6 " | ▲ 6 | ▲ 7 | ▲ 5 | ▲ 0 | ▲ 11 | ▲ 19 |
| 7～9 " | ▲ 2 | ▲ 9 | ▲ 12 | ▲ 20 | ▲ 25 | ▲ 6 |
| 10～12 " | ▲ 4 | ▲ 3 | ▲ 2 | ▲ 2 | ▲ 11 | ▲ 4 |
| 2018年 1～3 " | ▲ 8 | ▲ 0 | ▲ 9 | ▲ 8 | ▲ 24 | ▲ 7 |
| 4～6 " | ▲ 2 | ▲ 5 | ▲ 11 | ▲ 12 | ▲ 11 | ▲ 5 |
| 7～9 " | ▲ 2 | ▲ 15 | ▲ 2 | ▲ 11 | ▲ 3 | ▲ 5 |
| 10～12 " | ▲ 8 | ▲ 22 | ▲ 9 | ▲ 8 | ▲ 8 | ▲ 8 |
| 2019年 1～3 " | ▲ 16 | ▲ 30 | ▲ 1 | ▲ 28 | ▲ 6 | ▲ 8 |
| 4～6 " | ▲ 14 | ▲ 26 | ▲ 14 | ▲ 9 | ▲ 10 | ▲ 5 |
| 7～9 " | ▲ 16 | ▲ 26 | ▲ 0 | ▲ 30 | ▲ 10 | ▲ 14 |
| 10～12 月期見通し | ▲ 16 | ▲ 19 | ▲ 18 | ▲ 17 | ▲ 20 | ▲ 10 |

(注)D. I. =「増加」-「減少」

損益D. I. の推移

| | | 全産業 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | その他産業 |
|-------|-------------|------|------|------|------|------|-------|
| 2008年 | 7～9 月期 | ▲ 39 | ▲ 35 | ▲ 55 | ▲ 28 | ▲ 48 | ▲ 35 |
| | 10～12 " | ▲ 46 | ▲ 37 | ▲ 67 | ▲ 41 | ▲ 53 | ▲ 42 |
| 2009年 | 1～3 " | ▲ 41 | ▲ 41 | ▲ 51 | ▲ 23 | ▲ 53 | ▲ 31 |
| | 4～6 " | ▲ 38 | ▲ 42 | ▲ 50 | ▲ 26 | ▲ 33 | ▲ 35 |
| | 7～9 " | ▲ 26 | ▲ 28 | ▲ 39 | ▲ 23 | ▲ 15 | ▲ 21 |
| | 10～12 " | ▲ 26 | ▲ 18 | ▲ 30 | ▲ 32 | ▲ 15 | ▲ 35 |
| 2010年 | 1～3 " | ▲ 20 | ▲ 11 | ▲ 32 | ▲ 20 | ▲ 17 | ▲ 27 |
| | 4～6 " | ▲ 20 | ▲ 17 | ▲ 20 | ▲ 3 | ▲ 25 | ▲ 32 |
| | 7～9 " | ▲ 22 | ▲ 19 | ▲ 30 | ▲ 17 | ▲ 21 | ▲ 27 |
| | 10～12 " | ▲ 22 | ▲ 18 | ▲ 46 | ▲ 13 | ▲ 36 | ▲ 10 |
| 2011年 | 1～3 " | ▲ 24 | ▲ 19 | ▲ 29 | ▲ 26 | ▲ 17 | ▲ 29 |
| | 4～6 " | ▲ 15 | ▲ 8 | ▲ 31 | ▲ 34 | ▲ 12 | ▲ 10 |
| | 7～9 " | ▲ 24 | ▲ 24 | ▲ 28 | ▲ 30 | ▲ 40 | ▲ 11 |
| | 10～12 " | ▲ 10 | ▲ 17 | ▲ 19 | ▲ 8 | ▲ 17 | ▲ 6 |
| 2012年 | 1～3 " | ▲ 14 | ▲ 24 | ▲ 20 | ▲ 0 | ▲ 19 | ▲ 2 |
| | 4～6 " | ▲ 16 | ▲ 15 | ▲ 33 | ▲ 7 | ▲ 12 | ▲ 16 |
| | 7～9 " | ▲ 17 | ▲ 16 | ▲ 21 | ▲ 16 | ▲ 10 | ▲ 21 |
| | 10～12 " | ▲ 15 | ▲ 20 | ▲ 9 | ▲ 8 | ▲ 19 | ▲ 15 |
| 2013年 | 1～3 " | ▲ 16 | ▲ 27 | ▲ 4 | ▲ 35 | ▲ 12 | ▲ 7 |
| | 4～6 " | ▲ 9 | ▲ 18 | ▲ 10 | ▲ 9 | ▲ 14 | ▲ 3 |
| | 7～9 " | ▲ 5 | ▲ 9 | ▲ 4 | ▲ 5 | ▲ 17 | ▲ 6 |
| | 10～12 " | ▲ 1 | ▲ 6 | ▲ 16 | ▲ 3 | ▲ 0 | ▲ 1 |
| 2014年 | 1～3 " | ▲ 12 | ▲ 1 | ▲ 43 | ▲ 19 | ▲ 5 | ▲ 7 |
| | 4～6 " | ▲ 5 | ▲ 1 | ▲ 8 | ▲ 15 | ▲ 31 | ▲ 1 |
| | 7～9 " | ▲ 11 | ▲ 11 | ▲ 5 | ▲ 32 | ▲ 17 | ▲ 11 |
| | 10～12 " | ▲ 11 | ▲ 10 | ▲ 6 | ▲ 28 | ▲ 25 | ▲ 0 |
| 2015年 | 1～3 " | ▲ 14 | ▲ 27 | ▲ 13 | ▲ 23 | ▲ 16 | ▲ 14 |
| | 4～6 " | ▲ 19 | ▲ 34 | ▲ 15 | ▲ 13 | ▲ 18 | ▲ 7 |
| | 7～9 " | ▲ 13 | ▲ 25 | ▲ 24 | ▲ 3 | ▲ 6 | ▲ 3 |
| | 10～12 " | ▲ 4 | ▲ 11 | ▲ 2 | ▲ 11 | ▲ 5 | ▲ 5 |
| 2016年 | 1～3 " | ▲ 4 | ▲ 19 | ▲ 10 | ▲ 19 | ▲ 5 | ▲ 5 |
| | 4～6 " | ▲ 14 | ▲ 21 | ▲ 7 | ▲ 13 | ▲ 19 | ▲ 19 |
| | 7～9 " | ▲ 8 | ▲ 16 | ▲ 2 | ▲ 7 | ▲ 16 | ▲ 3 |
| | 10～12 " | ▲ 8 | ▲ 7 | ▲ 7 | ▲ 4 | ▲ 1 | ▲ 18 |
| 2017年 | 1～3 " | ▲ 4 | ▲ 9 | ▲ 17 | ▲ 4 | ▲ 15 | ▲ 8 |
| | 4～6 " | ▲ 2 | ▲ 5 | ▲ 12 | ▲ 3 | ▲ 11 | ▲ 12 |
| | 7～9 " | ▲ 1 | ▲ 4 | ▲ 7 | ▲ 9 | ▲ 5 | ▲ 2 |
| | 10～12 " | ▲ 5 | ▲ 15 | ▲ 6 | ▲ 4 | ▲ 9 | ▲ 1 |
| 2018年 | 1～3 " | ▲ 3 | ▲ 1 | ▲ 0 | ▲ 3 | ▲ 10 | ▲ 12 |
| | 4～6 " | ▲ 10 | ▲ 22 | ▲ 2 | ▲ 15 | ▲ 1 | ▲ 10 |
| | 7～9 " | ▲ 12 | ▲ 20 | ▲ 12 | ▲ 0 | ▲ 1 | ▲ 15 |
| | 10～12 " | ▲ 16 | ▲ 17 | ▲ 8 | ▲ 29 | ▲ 25 | ▲ 8 |
| 2019年 | 1～3 " | ▲ 19 | ▲ 35 | ▲ 7 | ▲ 28 | ▲ 4 | ▲ 13 |
| | 4～6 " | ▲ 15 | ▲ 28 | ▲ 10 | ▲ 11 | ▲ 6 | ▲ 7 |
| | 7～9 " | ▲ 17 | ▲ 25 | ▲ 8 | ▲ 17 | ▲ 19 | ▲ 13 |
| | 10～12 月期見通し | ▲ 16 | ▲ 18 | ▲ 6 | ▲ 6 | ▲ 26 | ▲ 18 |

(注)D. I. =「好転」-「悪化」

資金繰りD. I. の推移

| | | 全産業 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | その他産業 |
|-------|-------------|------|------|------|------|------|-------|
| 2008年 | 7～9 月期 | ▲ 26 | ▲ 20 | ▲ 27 | ▲ 23 | ▲ 46 | ▲ 18 |
| | 10～12 " | ▲ 24 | ▲ 22 | ▲ 31 | ▲ 20 | ▲ 33 | ▲ 18 |
| 2009年 | 1～3 " | ▲ 21 | ▲ 24 | ▲ 8 | ▲ 14 | ▲ 39 | ▲ 17 |
| | 4～6 " | ▲ 23 | ▲ 22 | ▲ 22 | ▲ 19 | ▲ 36 | ▲ 15 |
| | 7～9 " | ▲ 17 | ▲ 14 | ▲ 15 | ▲ 9 | ▲ 28 | ▲ 17 |
| | 10～12 " | ▲ 17 | ▲ 12 | ▲ 12 | ▲ 15 | ▲ 29 | ▲ 20 |
| 2010年 | 1～3 " | ▲ 16 | ▲ 7 | ▲ 19 | ▲ 10 | ▲ 34 | ▲ 15 |
| | 4～6 " | ▲ 11 | ▲ 2 | ▲ 10 | ▲ 2 | ▲ 38 | ▲ 11 |
| | 7～9 " | ▲ 12 | ▲ 6 | ▲ 12 | ▲ 5 | ▲ 27 | ▲ 14 |
| | 10～12 " | ▲ 9 | ▲ 5 | ▲ 5 | ▲ 10 | ▲ 25 | ▲ 7 |
| 2011年 | 1～3 " | ▲ 13 | ▲ 2 | ▲ 23 | ▲ 5 | ▲ 20 | ▲ 19 |
| | 4～6 " | ▲ 7 | ▲ 2 | ▲ 9 | ▲ 6 | ▲ 20 | ▲ 9 |
| | 7～9 " | ▲ 9 | ▲ 4 | ▲ 8 | ▲ 10 | ▲ 23 | ▲ 6 |
| | 10～12 " | ▲ 10 | ▲ 10 | ▲ 16 | ▲ 7 | ▲ 20 | ▲ 2 |
| 2012年 | 1～3 " | ▲ 10 | ▲ 8 | ▲ 9 | ▲ 3 | ▲ 22 | ▲ 7 |
| | 4～6 " | ▲ 12 | ▲ 8 | ▲ 14 | ▲ 8 | ▲ 25 | ▲ 7 |
| | 7～9 " | ▲ 9 | ▲ 10 | ▲ 6 | ▲ 0 | ▲ 18 | ▲ 7 |
| | 10～12 " | ▲ 10 | ▲ 9 | ▲ 13 | ▲ 2 | ▲ 24 | ▲ 8 |
| 2013年 | 1～3 " | ▲ 13 | ▲ 12 | ▲ 15 | ▲ 15 | ▲ 16 | ▲ 10 |
| | 4～6 " | ▲ 6 | ▲ 7 | ▲ 3 | ▲ 5 | ▲ 20 | ▲ 6 |
| | 7～9 " | ▲ 8 | ▲ 4 | ▲ 7 | ▲ 2 | ▲ 13 | ▲ 11 |
| | 10～12 " | ▲ 6 | ▲ 8 | ▲ 3 | ▲ 2 | ▲ 13 | ▲ 1 |
| 2014年 | 1～3 " | ▲ 1 | ▲ 3 | ▲ 5 | ▲ 0 | ▲ 5 | ▲ 2 |
| | 4～6 " | ▲ 2 | ▲ 2 | ▲ 1 | ▲ 4 | ▲ 9 | ▲ 2 |
| | 7～9 " | ▲ 5 | ▲ 6 | ▲ 7 | ▲ 4 | ▲ 18 | ▲ 4 |
| | 10～12 " | ▲ 7 | ▲ 10 | ▲ 2 | ▲ 5 | ▲ 13 | ▲ 3 |
| 2015年 | 1～3 " | ▲ 5 | ▲ 6 | ▲ 2 | ▲ 2 | ▲ 9 | ▲ 7 |
| | 4～6 " | ▲ 5 | ▲ 10 | ▲ 0 | ▲ 3 | ▲ 11 | ▲ 2 |
| | 7～9 " | ▲ 5 | ▲ 13 | ▲ 3 | ▲ 2 | ▲ 11 | ▲ 0 |
| | 10～12 " | ▲ 7 | ▲ 15 | ▲ 4 | ▲ 3 | ▲ 10 | ▲ 7 |
| 2016年 | 1～3 " | ▲ 3 | ▲ 7 | ▲ 4 | ▲ 2 | ▲ 11 | ▲ 1 |
| | 4～6 " | ▲ 5 | ▲ 7 | ▲ 8 | ▲ 5 | ▲ 12 | ▲ 12 |
| | 7～9 " | ▲ 0 | ▲ 0 | ▲ 7 | ▲ 3 | ▲ 4 | ▲ 2 |
| | 10～12 " | ▲ 2 | ▲ 5 | ▲ 4 | ▲ 2 | ▲ 8 | ▲ 1 |
| 2017年 | 1～3 " | ▲ 1 | ▲ 2 | ▲ 4 | ▲ 0 | ▲ 3 | ▲ 3 |
| | 4～6 " | ▲ 1 | ▲ 1 | ▲ 20 | ▲ 5 | ▲ 6 | ▲ 3 |
| | 7～9 " | ▲ 0 | ▲ 2 | ▲ 10 | ▲ 4 | ▲ 2 | ▲ 1 |
| | 10～12 " | ▲ 1 | ▲ 3 | ▲ 0 | ▲ 7 | ▲ 4 | ▲ 4 |
| 2018年 | 1～3 " | ▲ 2 | ▲ 1 | ▲ 7 | ▲ 0 | ▲ 0 | ▲ 0 |
| | 4～6 " | ▲ 0 | ▲ 3 | ▲ 11 | ▲ 7 | ▲ 1 | ▲ 6 |
| | 7～9 " | ▲ 2 | ▲ 5 | ▲ 5 | ▲ 3 | ▲ 2 | ▲ 3 |
| | 10～12 " | ▲ 3 | ▲ 9 | ▲ 11 | ▲ 0 | ▲ 2 | ▲ 6 |
| 2019年 | 1～3 " | ▲ 4 | ▲ 6 | ▲ 2 | ▲ 2 | ▲ 1 | ▲ 8 |
| | 4～6 " | ▲ 4 | ▲ 4 | ▲ 2 | ▲ 2 | ▲ 12 | ▲ 1 |
| | 7～9 " | ▲ 5 | ▲ 10 | ▲ 0 | ▲ 5 | ▲ 11 | ▲ 2 |
| | 10～12 月期見通し | ▲ 8 | ▲ 10 | ▲ 6 | ▲ 5 | ▲ 12 | ▲ 3 |

(注)D. I. =「楽」-「窮屈」

設備投資実施割合の推移

単位：%

| | | 全産業 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | その他産業 |
|-------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 2008年 | 7～9 月期 | 43 | 52 | 22 | 33 | 40 | 47 |
| | 10～12 " | 39 | 49 | 17 | 26 | 29 | 48 |
| 2009年 | 1～3 " | 39 | 55 | 21 | 29 | 32 | 37 |
| | 4～6 " | 32 | 38 | 14 | 26 | 29 | 37 |
| | 7～9 " | 34 | 42 | 13 | 25 | 28 | 41 |
| | 10～12 " | 31 | 40 | 13 | 21 | 27 | 34 |
| 2010年 | 1～3 " | 32 | 43 | 14 | 18 | 27 | 34 |
| | 4～6 " | 29 | 46 | 16 | 18 | 15 | 28 |
| | 7～9 " | 32 | 48 | 26 | 23 | 17 | 29 |
| | 10～12 " | 33 | 35 | 27 | 28 | 19 | 43 |
| 2011年 | 1～3 " | 32 | 45 | 12 | 23 | 27 | 35 |
| | 4～6 " | 29 | 35 | 13 | 18 | 21 | 38 |
| | 7～9 " | 33 | 30 | 22 | 43 | 27 | 41 |
| | 10～12 " | 32 | 35 | 23 | 18 | 23 | 42 |
| 2012年 | 1～3 " | 27 | 30 | 10 | 32 | 27 | 29 |
| | 4～6 " | 31 | 41 | 18 | 18 | 24 | 36 |
| | 7～9 " | 37 | 45 | 23 | 26 | 30 | 45 |
| | 10～12 " | 36 | 42 | 24 | 24 | 34 | 43 |
| 2013年 | 1～3 " | 35 | 44 | 24 | 26 | 37 | 35 |
| | 4～6 " | 31 | 40 | 24 | 22 | 23 | 34 |
| | 7～9 " | 36 | 44 | 28 | 29 | 32 | 38 |
| | 10～12 " | 34 | 39 | 16 | 28 | 36 | 40 |
| 2014年 | 1～3 " | 36 | 43 | 34 | 25 | 44 | 32 |
| | 4～6 " | 32 | 35 | 27 | 20 | 31 | 36 |
| | 7～9 " | 34 | 39 | 21 | 17 | 34 | 41 |
| | 10～12 " | 35 | 44 | 17 | 20 | 36 | 41 |
| 2015年 | 1～3 " | 33 | 40 | 28 | 21 | 26 | 39 |
| | 4～6 " | 34 | 38 | 25 | 26 | 29 | 41 |
| | 7～9 " | 34 | 37 | 18 | 15 | 39 | 44 |
| | 10～12 " | 36 | 39 | 28 | 26 | 38 | 42 |
| 2016年 | 1～3 " | 37 | 42 | 23 | 32 | 43 | 40 |
| | 4～6 " | 35 | 41 | 28 | 23 | 28 | 41 |
| | 7～9 " | 40 | 42 | 31 | 30 | 48 | 44 |
| | 10～12 " | 38 | 45 | 23 | 27 | 35 | 45 |
| 2017年 | 1～3 " | 39 | 46 | 31 | 20 | 44 | 42 |
| | 4～6 " | 40 | 42 | 26 | 38 | 34 | 48 |
| | 7～9 " | 38 | 42 | 30 | 32 | 33 | 43 |
| | 10～12 " | 38 | 44 | 29 | 28 | 40 | 39 |
| 2018年 | 1～3 " | 39 | 51 | 25 | 24 | 40 | 39 |
| | 4～6 " | 37 | 40 | 35 | 32 | 38 | 37 |
| | 7～9 " | 36 | 39 | 30 | 24 | 41 | 39 |
| | 10～12 " | 39 | 49 | 35 | 21 | 37 | 40 |
| 2019年 | 1～3 " | 38 | 46 | 29 | 20 | 35 | 44 |
| | 4～6 " | 36 | 36 | 29 | 28 | 35 | 42 |
| | 7～9 " | 39 | 49 | 22 | 28 | 32 | 46 |
| | 10～12 月期見通し | 36 | 43 | 23 | 17 | 35 | 44 |

雇人員D. I. の推移

単位:%

| | | 全産業 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | その他産業 |
|-------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 2008年 | 7~9 月期 | | | | | | |
| | 10~12 " | | | | | | |
| 2009年 | 1~3 " | | | | | | |
| | 4~6 " | 12 | 18 | 18 | 18 | 2 | 4 |
| | 7~9 " | 8 | 10 | 21 | 18 | 1▲ | 2 |
| | 10~12 " | 6 | 5 | 5 | 15 | 3 | 5 |
| 2010年 | 1~3 " | 3 | 7 | 0 | 8▲ | 2 | 0 |
| | 4~6 " | 8 | 14 | 20 | 8 | 9▲ | 3 |
| | 7~9 " | 7 | 13 | 4 | 17▲ | 2▲ | 3 |
| | 10~12 " | ▲1 | 7▲ | 16 | 20▲ | 9▲ | 6 |
| 2011年 | 1~3 " | ▲3 | 3 | ▲15 | 11 | ▲12 | ▲4 |
| | 4~6 " | 3 | 6 | 19 | 8 | 0▲ | 9 |
| | 7~9 " | ▲2 | 9 | 8 | 5▲ | 19▲ | 14 |
| | 10~12 " | ▲1 | 9 | 0▲ | 3 | 0▲ | 16 |
| 2012年 | 1~3 " | ▲6 | 2▲ | 9 | 6▲ | 18▲ | 9 |
| | 4~6 " | 1 | 6 | 11 | 11▲ | 2▲ | 12 |
| | 7~9 " | ▲6 | 1▲ | 9 | 12▲ | 13▲ | 13 |
| | 10~12 " | ▲8 | 2▲ | 17 | 2▲ | 10▲ | 18 |
| 2013年 | 1~3 " | ▲9 | ▲3 | ▲10 | 7▲ | 8▲ | 20 |
| | 4~6 " | ▲9 | 0▲ | 12▲ | 4▲ | 13▲ | 16 |
| | 7~9 " | ▲16 | ▲8 | ▲33 | 3▲ | 8▲ | 21 |
| | 10~12 " | ▲18 | ▲5 | ▲43 | 10▲ | 3▲ | 28 |
| 2014年 | 1~3 " | ▲25 | ▲13 | ▲36 | ▲13 | ▲23 | ▲36 |
| | 4~6 " | ▲19 | ▲10 | ▲29 | 0▲ | ▲29 | ▲25 |
| | 7~9 " | ▲20 | ▲6 | ▲41 | ▲5 | ▲28 | ▲28 |
| | 10~12 " | ▲27 | ▲13 | ▲46 | ▲5 | ▲22 | ▲39 |
| 2015年 | 1~3 " | ▲26 | ▲17 | ▲37 | ▲12 | ▲26 | ▲37 |
| | 4~6 " | ▲22 | ▲16 | ▲30 | ▲10 | ▲31 | ▲23 |
| | 7~9 " | ▲23 | ▲14 | ▲35 | ▲3 | ▲25 | ▲30 |
| | 10~12 " | ▲27 | ▲15 | ▲43 | ▲12 | ▲28 | ▲38 |
| 2016年 | 1~3 " | ▲25 | ▲10 | ▲44 | ▲10 | ▲23 | ▲37 |
| | 4~6 " | ▲18 | ▲1 | ▲23 | ▲7 | ▲34 | ▲27 |
| | 7~9 " | ▲29 | ▲24 | ▲42 | ▲9 | ▲30 | ▲36 |
| | 10~12 " | ▲36 | ▲33 | ▲47 | ▲10 | ▲32 | ▲41 |
| 2017年 | 1~3 " | ▲39 | ▲28 | ▲53 | ▲22 | ▲35 | ▲49 |
| | 4~6 " | ▲36 | ▲31 | ▲47 | ▲8 | ▲36 | ▲46 |
| | 7~9 " | ▲39 | ▲34 | ▲56 | ▲14 | ▲41 | ▲45 |
| | 10~12 " | ▲44 | ▲42 | ▲64 | ▲15 | ▲48 | ▲46 |
| 2018年 | 1~3 " | ▲45 | ▲42 | ▲51 | ▲23 | ▲59 | ▲49 |
| | 4~6 " | ▲42 | ▲40 | ▲49 | ▲35 | ▲47 | ▲39 |
| | 7~9 " | ▲42 | ▲38 | ▲56 | ▲34 | ▲51 | ▲37 |
| | 10~12 " | ▲45 | ▲34 | ▲60 | ▲37 | ▲53 | ▲48 |
| 2019年 | 1~3 " | ▲42 | ▲26 | ▲53 | ▲38 | ▲56 | ▲48 |
| | 4~6 " | ▲37 | ▲23 | ▲42 | ▲33 | ▲51 | ▲42 |
| | 7~9 " | ▲43 | ▲35 | ▲56 | ▲28 | ▲55 | ▲47 |
| | 10~12 月期見通し | ▲45 | ▲37 | ▲60 | ▲25 | ▲54 | ▲47 |

(注)D. I. =「過剰」-「不足」

最近の業況、SDGs、かごしま国体等に関する主な意見

| | | 意見 |
|-------|---|---|
| 製造業 | 食料品 | 業況は国内市場が厳しく、海外市場へ活路を求めている。SDGsと自社企業活動のリンク性を模索中。 |
| | | かごしま国体は県外からの来鹿が多く見込まれるので、PRに力を入れたいと考えている。 |
| | | かごしま国体開催による来客増と観光地の活性化に繋がり、鹿児島県の新しい情報発信ができればいいと思う。 |
| | | 消費税、年金問題、米中貿易摩擦、日韓関係等のマイナス要因の方が多く、経済的な明るい話題が少ない。心理的な不況に陥る可能性があると思う。 |
| | | 梅雨明けの遅れを含む天候不順、韓国との関係悪化が受注減に繋がっており、収益を悪化させている。 |
| | | 来年のかごしま国体等で、大河ドラマと同様に一時的にでも景気が良くなることを期待している。 |
| | | 消費税増税前の駆け込み需要は以前と比べて弱い感じがする。増税後の反動による売上不振が心配される。 |
| | 窯業・土石 | かごしま国体・かごしま大会開催準備のための公共工事が行われている。その工事において自社の製品も使用されており、今後の発注工事にも期待したい。 |
| | 機械・金属 | 国際的に半導体関連の市場が縮小している。 |
| | 電機・電子 | かごしま国体へは地元の誘致競技への協力を予定している。 |
| | その他製造業 | 有給休暇の取り方、休日祝日が増えて、危機管理が追いつかない。 |
| 建設業 | 土木 | SDGsについて、ことさら意識せず行ってきた活動に、社会貢献理論が後付けされて、宣伝できると良い。 |
| | 総合建設 | 国体や大会があれば、公共事業が若干増加するので、良い傾向ではある。 |
| | 建築 | 現状の先に未来はない、大きく変革する時が来ている。社員の自立と深い理解が重要となってくる。 |
| 卸売業 | その他卸売 | 国体を開催するにあたり、競技場はそのままでのよいのか多少心配である。 |
| 小売業 | 自動車 | 消費税増税前で今月(9月)の売上増を図るべく取り組んでいる。 |
| | スーパー | 広告媒体、決済方法などでの、顧客の変化がこのところとくに大きく、既成の方法が通じないため、取り組みあぐねている。 |
| | その他小売 | オリンピックの報道に引っ張られがちなので、国体の情報発信も鹿児島県を中心にしっかりと行ってほしい。 SDGsについては経営計画に主軸において取り組んでいきたいと考えている。 |
| その他産業 | 旅館・ホテル | かごしま国体には大変期待している。鹿児島にとって最大のアピールのチャンス。 |
| | | 国内外のイベントで観光客が増減し、その影響を受けやすい。一過性ではなく、継続した取り組みで地域経済の活性化が必要と思われる。 |
| | | 国内人口減少に伴い、インバウンドの取り込み強化を行っている中、韓国の減少は大きな問題である。 |
| | 運輸・通信 | 日韓関係悪化で旅行客が減少し、前年同時期比で大幅減少(韓国市場のみ)。冬季までこの状態が続かないか心配。 |
| | 外食 | 増税、キャッシュレス決済を過剰に推し進める(優遇)ことで、現場(店舗)の混乱が懸念される。 |
| サービス | 国体等、県民へのPRがまだまだ不足しているように思う。もっと盛り上げてほしい。 | |
| | 国体に関しては、県外からたくさんの人に鹿児島を知ってもらい、観光客や鹿児島での就業人口が増えたらと考える。 | |
| | 国体は気分的な高揚感がある面はいいのでは。ビジネスへの影響は期待薄。 消費税増税後の顧客の動向、ポイント還元制度の影響が気になる。SDGsは、自社で取り組めること・貢献できることをこれから考えていきたい。 | |